

EXHIBITION・ギャラリー・ウェブサイト情報

■アテネ・フランセ (吉阪隆正 作品) 一般公開
ル・コルビュジェには、日本人の3人の弟子がいます。前川國男、坂倉順三、吉阪隆正の3人です。校舎は、その中の吉阪隆正が設計した建物であり、1962年の日本建築学会賞を受賞しました。学校法人の建物ですので、普段は一般公開していませんが、国立西洋美術館でル・コルビュジェ展を開催されるのを機に下記日程で申込みのうえで、公開します。授業の都合上、比較的教室の混んでない月曜、金曜の夕方ですが、静かに観覧願います。
日程・2019年2月25日(月)/3月8日(金)/3月18日(月)/4月19日(金)/4月22日(月)/5月13日(月)/5月17日(金)
時間・16時～ 料金・無料(事前申し込み制) 主催・アテネ・フランセ
会場・アテネ・フランセ 東京都千代田区神田駿河台2-11
https://www.athenee.jp/1_french/O4_fuyu/corbustier.html

■イームズハウス：より良い暮らしを実現するデザイン
概要「イームズハウス」は、チャールズ・イームズとレイ・イームズ夫妻の住宅兼スタジオで、1949年に完成し、今日でも世界の名建築の一つに数えられています。類い稀な才能に恵まれた二人のデザイナーが創り上げたデザイン思想の軌跡を辿ることによって、そこにある現代性と未来につながる普遍的な価値を見つめます。また、イームズ夫妻の思想を後世に伝えるため、この住宅の長期的な保存修復計画が策定され、2014年に第一ステージが完了しました。モダニズム建築保存の成功事例として紹介するとともに、その意義を伝えます。更に、イームズ夫妻が日本のデザイン界と交流し、相互に影響を受けたエピソードや、イームズ・オフィスが制作した映像等も紹介します。
会期・2019年3月19日(火)～2019年5月30日(木) 会場・GALLERY A4(東京都江東区新砂1-1-1)

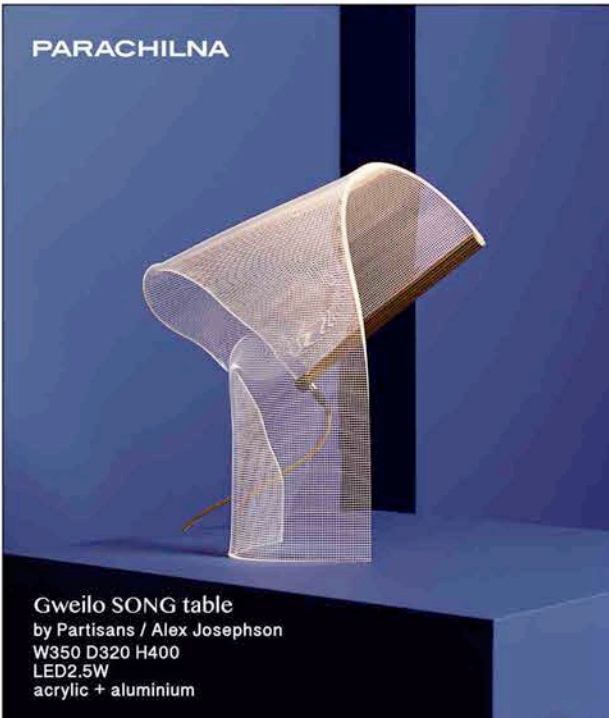
SHOKANKYO 86 | March 2019 |

Japan Commercial Environmental Design Association (JCD)

商環環86号 2019年2月末日発行 発行:一般社団法人 日本商業環境デザイン協会
〒141-0022 東京都品川区東五反田5-25-19東京デザインセンター5F TEL 03-6277-4813 FAX 03-6277-4814
<http://www.jcd.or.jp/> e-mail: info@jcd.or.jp
企画・編集・製作/JCD本部広報委員会(委員長:飯島直樹 編集/デザイン/広告編集:吉川紳太 編集委員:水谷晶人 木村倫貴)
頒布価格 ¥500

www.a-quad.jp/about/information.html
開館時間・10:00～18:00(最終日は17:00まで) 休館日・日曜・祝日 入館料・無料

関連イベント
■対談「イームズハウスの魅力を語る」
日時・2019年3月28日(木)18:30～20:00 会場・竹中工務店東京本店1階WiP(ワイクエア) 講師・岸和郎(建築家) 植田実(編集者)
■シンポジウム「チャールズ&レイ・イームズが残したもの」
日時・2019年5月10日(金)18:30～20:00 会場・竹中工務店東京本店2階Aホール 講師・イームズ・デストリアス(イームズ財団理事長) ルシア・チューイ・アトウッド(イームズ財団・250年プロジェクト担当理事)
詳細/申込み・http://www.a-quad.jp/exhibition/event.html?id=ev095_1
主催・公益財団法人竹中育英会 <http://www.a-quad.jp/exhibition/exhibition.html>



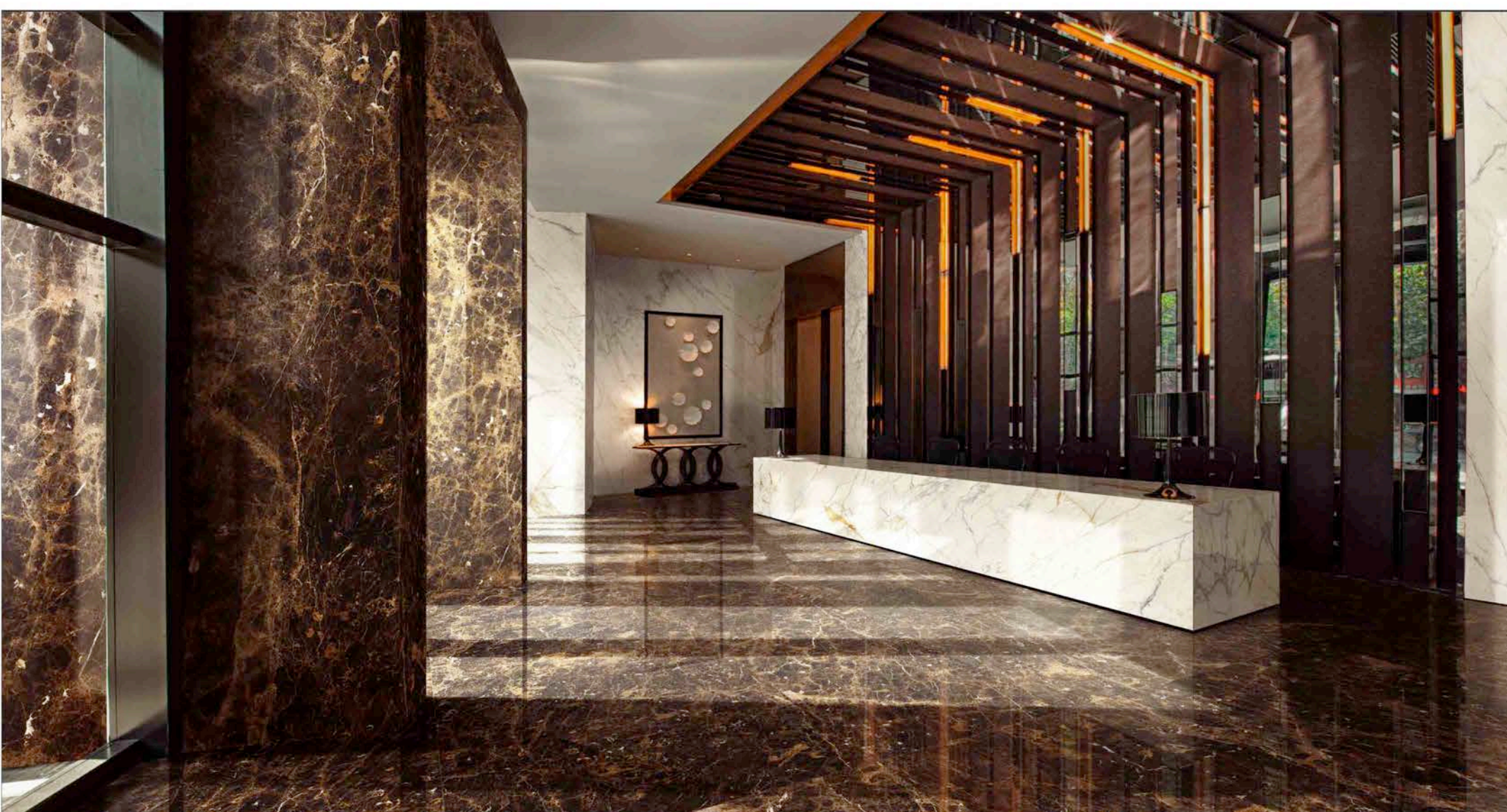
Gweilo SONG table
by Partisans / Alex Josephson
W350 D320 H400
LED2.5W
acrylic + aluminium



LUMINABELLA
ルミナベッラ東京
東京都品川区東五反田5-25-19 Tokyo Design Center 4F
www.luminabella.jp



arti
CONTACT家具ブランド
アルティ株式会社
オフィス / artiショールーム
〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-30 南麻布渋谷ビル1F
TEL (03) 5449-2500 FAX (03) 5449-2920
www.arti-tokyo.com



R6RP Maiora Emperor Glossy 1200x2400x6.5

GRANDE gets bigger 1600x3200x6.5mm・1620x3240x12mm

大判スラブコレクション「GRANDE」に1600x3200x6.5mm厚が新たに加わり、さらに、シームレスなキッチンカウンターや家具などに適した1620x3240x12mm厚も揃え、大理石調やコンクリート調・メタル調などバリエーション豊かな表情とカラーで展開。大胆かつ繊細なパターン、そして最新技術により視覚的歪みの無いパーフェクトに平らな表面を実現。特に GRANDE マーブルルック・磨き仕上げのタイルは、大きさとともにまさに「圧巻」の一言。

MARAZZI
株式会社マラッツィ・ジャパン
〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1
東海堂銀座ビル6F
TEL: 03-5283-1355
E: info@marazzijapan.com
www.marazzijapan.com

SHOKANKYO
ショウカンキョウ

1
Section60
5
JCD Design Award 2018
9
JCD Product of the Year 2018
13
Commission Reports
19
JCD Talk Lounge
21
All Japan Branch Reports
23
Information

86

SECTION60
TOKYO

JCD 連続デザインシンポジウム

トークイベント

杉本貴志の

人と仕事を語る

パネリスト

片山正通氏

難波和彦氏

面出 薫氏 (中左より)

モデレーター

飯島直樹氏 (左)

report：大菅 力

photo：武藤奈緒美

■片山正通・飯島直樹が語る杉本貴志

片山 杉本さんとは90年代からの付き合いです。新宿駅ビルのレストランフロア「シュン・カン」の仕事で声を掛けられたのがきっかけです。でも、そのときは仕事を断ったんです。そうしたら「おまえみたいな生意気な奴に入ってほしい」と再度誘われました。結局、その仕事は3回断りました。そうしたら「分かった。じゃあ大学を手伝え」と言われて、そこから付き合いがはじまりました。

飯島 杉本さんの仕事で印象深いものは？

片山 たくさんありますが、たとえば「バー・ラジオ」ですね。実は若いころ、東京に遊びに行ったときに足を運んだことがあるんです。でも店内に入ろうと扉を開けたら、なかから大人の客にじろつと見られて、怖気づいて外に出てきてしまいました(笑)。この空間は凄みがあります。彫刻家の若林奮さんに空間全体を彫刻として頼んでいますよね。なぜそこまで任せるのかと考えますが、それがデザインなんです。すべてを任せても、結局デザインは杉本さんの掌にある。

飯島 バーラジオができたのは1972年です。余計なものを削ぎ落としてバーらしさを追求した空間で、店内は暗くて10坪しかない。図面はたった1枚で、それも業者が描いた下手な図面。その当時スーパーポテトでは、図面や資料を抱えているのはダサイし、「そんなものはどうでもいい」という態度を取っていたんです。カウンターカルチャーのバイブルであるロラン・バルトの『エクリチュール』の零度」に代表されるように、1960年代末から1970年代初頭は、押し付けられた制度から距離を取ることが格好いい時代でした。

同じころにつくられた「ハブ オレンジ」も時代の感覚がよく出ています。ミニマルな平面に真鍮のテーブルが置かれ、モフレの光が生じる。椅子の座面は籐張りで、床は大理石のピアノカララ。壁と天井はグレーに塗られている。これは「構成するな、フォルムに頼るな」というドナルド・ジャッドの影響があると思います。

■難波和彦が語る杉本貴志

杉本さんとの出会いは2002年です。その年に僕と北山恒さん、吉岡徳仁さんが呼ばれて「無印良品の家」のコンペが行われました。審査の結果、僕の案が選ばれたので、杉本さんと会うことになりました。話をしてみると、意見が会わず、完全にすれ違っていました。僕はシェルターとなるスケルトンを提供し、そこに無印良品のインフィルを挿入するかたちを提唱しました。モダンな考え方に基いた提案です。杉本さんは僕とは逆にポストモダンの考え方をしていました。「難波君、柱・梁を含めてインテリアは全部白く塗ろうよ」と言っていました。僕は「杉本さんは何でも塗ってしまうんだ。その考え方には抵抗があるな」と思っていました。僕はカバーしたり塗ったりせずに、メーカーがつくった製品を取り付けることで空間が全部表現されるかたちを考えていました。ある編集者の家です。インテリアは深澤直人さんが手掛けました。僕がインテリアで関わったのは階段や手摺りくらいです。でも柱・梁が表して表現されていたので、「まずはこれでいいだろう」と思っていました。

「無印良品の家」は2004年に販売を開始しました。工務店は設計ルールを理解するのが難しかったようで、決めごとが守られませんでした。何度かルールを改良して、ランニングのセオリーや露出配線の手法、階段の仕組みなどを新たに提案しました。でも最初のモデル以外は工務店に受け入れられず、広がらなかったですね。

「A LIFE WITH MUJI— 杉本貴志」という書籍のなかで、杉本さんは久隅守景の夕顔棚納涼図を取り上げ、「デザインの極致」と高く評価しています。同じ絵を社会学者のエマニュエル・トッドが「家族システムの起源」の表紙に用いている。トッドは日本的な核家族の原像として見ている。杉本さんはトッドとは異なり、夕顔棚という開放的で単純なシェルターを「無印良品の家」の原型として見ていたように思います。

■面出薫が語る杉本貴志

僕が代表を務めるライティング プランナーズ アソシエーツ (LPA) は1990年に設立しました。当時、僕はヤマギワ研究所に勤めていましたが、杉本さんから「独立しろ」と強引に誘われました。会社設立にあたっては、資本金のことから事務所の場所まで全才杉本さんが決めてくれました。ロゴは杉本さんの紹介で田中一光さんがつくってくれました。「一光さんに頼んでやる」と杉本さんに言われて、一光さんの事務所と一緒に行ったことをよく覚えています。その後も「茶道を始めるからお前もこい」と言われて一緒に始め

たり、「ギヤラリー間」で展覧会をやれ」と言われて「建築照明の作法」という展示をしたこともありました。杉本さんからの誘いのなかに、「武蔵野美術大学で講義をしろ」という話がありました。「お前は光のデザインを教える。毎週こい」と言われたのです。物凄く忙しかったので断りました。でも何回も口説かれて、最後は「俺がこいといったらこい」と迫られ、仕方なく客員教授を引き受けました。そんな経緯があるので、杉本さんは「面出ゼミは俺がつくった」と豪語しています。杉本さんは武蔵野美術大学で型にはまらない教え方をしていました。杉本ゼミ出身者がいい仕事をしている人はたくさんいます。僕も10年大学で教えて、教育の大切さを痛感しているところです。一方で杉本さんは遊ぶことを大事にしていた。僕は新内節を30年以上続けていますが、そのことを杉本さんに話したところ「それは凄いな。でも新内節は心中物が多いのだからもっと遊ばないとだめだ。遊びが足りないぞ」と言われました。確かに杉本さんはよく遊んでいました。ゴルフはうまいし、50歳を過ぎてからはスキーに凝っていましたね。あるとき杉本さんはバリ島にある大きなヴィラを買って、仲間と集ようになりました。僕や原研哉もヴィラに連れていかれました。杉本ゼミは毎年バリ島に行って、茶室をつつてお茶を立てるなどの活動をしていました。還暦前になると杉本さんは、間から始める照明ということをよく言っていました。間があって灯りがあるということを認識させたい。そ

40年以上にわたり国内外の商環境デザインを牽引した杉本貴志氏。2018年4月に逝去された同氏を偲び、JCDは「杉本貴志の人と仕事を語る」と題したトークイベントを開催。

パネリストとして杉本氏が創成期から関わる無印良品で住宅開発を手がけた建築家の難波和彦氏、公私にわたり交流の深い照明デザイナーの面出薫氏、武蔵野美術大学で杉本氏の後を受け教鞭をとるインテリアデザイナーの片山正通氏、モデレーターとしてインテリアデザイナーの飯島直樹氏を招き、杉本氏の足跡を人柄と仕事の双方から探る。

んな話をしていました。2012年に「陰影のデザイン」というLPAの作品集を出版しましたが、今思うと杉本さんの影響を強く受けているように思います。独立してからあっと言う間に25年が過ぎました。僕たちは60人の事務所に成長し、シンガポールと香港にも事務所があります。LPAが大きくなっていくことを杉本さんは喜んでいました。「LPAは自分の作品だ」とも言っていました。僕は杉本さんからたくさんのご意見を頂戴し、所作も真似してきました。73歳で亡くなったのは本当に残念です。でも僕らも負けないように、もっと精進したいと思っています。

■難波和彦

飯島 難波さんは杉本さんとどこかに遊びに行きましたか？

難波 1回だけ鯉を食べにいきまして。僕がよく鯉を食べに行くのは赤坂。杉本さんと行ったのは行ったのは神田です。杉本さんは「赤坂はご飯が甘い。神田はしょっぱい」と言っていました。食べ比べたら、確かにその通りだった(笑)。

片山 僕と森田泰通君、杉本さんで3回食事をしたことがあります。あるとき「お前には是非紹介したい女性がいるからすぐにこい」と連絡があり、急いで杉本さんの事務所に行く、武蔵野美術大学の学生がたくさんいた(笑)。「何か話してくれ」と言われて、急遽話をしたことがあります。

飯島 杉本さんらしいですね。武蔵野美術大学の教授も半ば強引に手渡されたのでは？

片山 杉本さんは19年間教授職をやって、10年間主任も務められました。20年間教授職をやると名誉教授になります。それが嫌だから「おまえがやれ」と言われたようです。忙しかったから本気で断ったら本気で怒られました(笑)。でも実際に学生に教えてみると、凄く面白かった。

飯島 杉本さんは自分と他者の関係性に自覚的で、優秀な人の一本釣りをするんです。とにかく気になる人は誘う。「無印良品の家」のときの難波さんもそうだったでしょう？

難波 杉本さんがもっていない、全ジニアリングの素養に期待したんだと思います。僕のなかにあるノイエザッハリヒカイト(新即物主義)の素養が杉本さんをくすぐった。でも「無印良品の家」のインテリアでは空間を白く塗って物を消そうとしていましたね。

飯島 空間を単一に塗り込めるのはスーパーポテトのくせのようなものです。構成してはいけない、水平垂直から空間をつくることを脱しなければいけないと考えていた。杉本さんは一発で空間の印象を掴むということにこだわっていた。

■遊びを仕事に

飯島 杉本さんといえば買物。バリ島の別荘に親しい人たちとよく出掛けていましたが、「この棚のここからここまで全部」と言う買い方で、スケールが大きすぎるから大変です。バリ島の馴染みの店でも杉本さんがくると「こういふがある」と奥から秘蔵品を

パネリスト
難波和彦氏
建築家

なんば かずひこ
建築家
一級建築士事務所(株)野工作舎
東京大学名誉教授、放送大学客員教授、
建築家

パネリスト
面出 薫氏
照明デザイナー

めん で かおる
照明デザイナー
1990年に株式会社ライティング・プランナ
ーズ・アシエツを設立、代表取締役、東京
藝術大学非常勤講師、武蔵野美術大学客
員教授。

パネリスト
片山正通氏
インテリアデザイナー

かたやま まさみち
インテリアデザイナー
株式会社ワンダーウォール 代表、武蔵野美
術大学 空間演出デザイン学科 教授。

モデレーター
飯島直樹氏
インテリアデザイナー

いひま なおき
インテリアデザイナー
スーパーボット在籍後、1989年東京造形大
学デザイン専攻を卒業。2004-2014、JCD理事長。
2011-2016、工学院大学建築学専攻教授。



出してくる。杉本さんは見て選ぶごへの執着心が過剰だから、
買い物に付き合った人たちは全員うんざりすることになる(笑)。
片山 買い物好きが高じて、骨董品や家具など自分が好きなもの
を買って販売する会社を起こしましたよね。自分が飲みに行きたく
なる店を自分でつくったり、遊びを全部仕事にしてしまうのも杉
本流です。
飯島 スーパーブランディングもその1つ。新しいビジネスをつくるた
めの企画会社。事業企画からアートディレクションまで仕切るとい
う形態は新しかった。
■時間の感覚
難波 杉本さんの古材の使い方から、デザインのなかに時間を
感じさせることを学びました。近代的なデザインには時間の概念
がなくて、グッドデザイン賞も基本的には新品主義です。
飯島 グッドデザイン賞の建築にはリノベーション部門があります
ね。
難波 それでグッドデザイン賞のなかで唯一古いものを対象してい
ます。リノベーションと杉本さんの作品は、近代デザインに対する
カウンターという点では共通していますが、アプローチは異なります。
リノベーションは、快適性の1つの条件として時間を取り込んで
いて、表現も匠的でした。
飯島 古材を多用した「春秋ツギハギ」を見ると、杉本さんがや
ったことは古材の配列を決めただけ。インパクトを生んでいるのは
古材の元々のかたちやテクスチャです。近代デザインの手法から
は完全にはみ出しています。
片山 杉本さんの手法はサンプリングやマッシュアップの先駆けと

も言えます。「春秋ツギハギ」の古材の使い方と彫刻家の若林
奮氏に「パー・ラジオ」の空間づくりを任せるとは同じことだ
と思います。デザイナーの個性が空間に反映されることにより、もし
くはデザイナーの個性がその空間に求められるベストの選択を優
先している。今の時代、そういうプロデューサー的な感覚が再発
見されるべきだと思う。
難波 僕は基本的に性能とかコンストラクションにしか興味がありま
せん。建築家コリン・ロウによる「透明性 実と虚」という論文では、
透明性をリテラル(物質的)とフェノメナル(現象的・知覚的)
に分けて論じています。インテリアはフェノメナルな存在で建築はリ
テラルな存在。僕はフェノメナルなデザインには興味がありません。
飯島 「無印良品の家」における難波さんと杉本さんの取り組み
は、リテラルとフェノメナルの対立なのですね。ただし無印良品
の本体である良品計画はリテラルを志向していました。
片山 「良品計画のコミュニティメンバーを集めるからユコクワの
話をしてほしい。刺激を与えたい」と言われて、話に出向い
たことがありました。「MUJIは無鉄砲にならないといけない」と言
っていましたね。
難波 レヴィ・ストロースが「野生の思考」で提唱したプリコラ
ージュという概念があります。出来事により構造をつくるという考
え方です。杉本さんの仕事はプリコラージュだと思う。フェノメナル
であり、出来事でもある。
飯島 無印良品の商品は当初、西友に置いてありました。それを
もう少し前に押し出すために路面店をつくることになりました。そ
れが83年に開店した青山1号店です。よい物件が見つかるまで
半年掛かりましたが、図面は3日で描きました。あのとき「木・金・土」

すなわち自然素材である木材と金属と土で空間をつくるというコン
セプトを打ち立てましたが、その骨格はその後も引き継がれました。
■杉本さんが学んだこと
飯島 最後に杉本さんから学んだことを聞かせてください。
片山 共同で事務所を運営していた黒川勉が杉本さんにプレゼ
ンしたときの話が心に残っています。プレゼンを終えると、杉本
さんはただ一言「だめた」と言ったそうです。黒川が理由を聞くと「い
いところがないからだ」と言われた。「常にいいところを伸ばせ」
という教訓だと僕は捉えました。僕もいいところは何かということ
を常に問い掛けていっていきたい。学生にもそう言い聞かせています。
難波 先ほども言いましたが、デザインにおける時間の問題です。
インテリアと建築の違いを自覚させられました。でも最近の建築は
インテリアみたいになっている。士会連合の作品賞の審査員をや
っていますが、今年は21作品を審査して、4つを入賞から落としました。
その4作品はいずれも「新建築」の表紙を飾っている。僕の時
代は終わったようです(笑)。
面出 僕が学んだのは、迷っているときに確信をもってのように
話すということ。実は大切なことだと思います。杉本さんのように
振る舞って、周りから認められることは少ないと思いますが、僕も
真似ていきたいです。
飯島 杉本さんに感謝しているのは、JCD理事長の8年目を終
えたとき、理事会に杉本さんが殴り込んで、「これ以上、飯
島にやらせるな。若い人間にやらせる」と意見してくれたことです。
それがありがたかった。おかげで理事長をやめられたので、今日
は司会に専念できました(笑)。

SECTION60
TOKYO
JCD 連続デザインシンポジウム

アーカイブス



- 第1回 1993年2月24日/原宿入来ビル
内田 繁 沖健次 飯島直樹
- 第2回 4月21日/コイズミライティングシアター・イズム
杉本貴志 隈研吾 近藤康夫
- 第3回 6月29日/鹿島KIビル
鈴木 エドワード 伊東 順二 吉見 俊哉
- 第4回 8月27日/札幌かでのホール
杉本貴志 伊東 豊雄 内田 繁
- 第5回 10月29日/鹿島KIビル
園 紀彦 青木 淳 飯島直樹
- 第6回 12月10日/鹿島KIビル
中西 元男 黒木 靖夫 河原 敏文 近藤 康夫
- 第7回 1994年1月29日/金沢石川県立能楽堂
内田 繁 杉本貴志 毛綱 毅廣 大越 年雄 福光 松太郎
- 第8回 6月8日/鹿島赤坂別館
ガエターノ ベンジエ 内田 繁 三宅 理一
パネルディスカッション 環境と時代性
- 第9回 8月26日/札幌かでのホール
山本 孝雄 竹山 聖 妹島 和世 近藤 康夫
パネルディスカッション 環境と時代性
- 第10回 1995年6月9日/鹿島赤坂別館
エット・ソットサス
- 第11回 9月9日/広島国際会議場
瀬川 登 川九 洗 赤松 良一 丹羽 英喜 花輪 恒 渡部 隆 飯島直樹
瀬戸内海の環境の現実と未来
- 第12回 9月22日/愛知県中小企業センター
面出 薫 内田 繁 大國 隆益夫
- 第13回 11月10日/原宿アドヴァン
小泉 誠 森田 泰通 牛建 務 間宮 吉彦 内田 淳 飯島直樹
What's shokarkyo? SECTION2「高環境デザイン賞から JCDデザイン賞へ」
- 第14回 11月10日/原宿アドヴァン
内田 繁 久留宮 金一 野村 武彦 近藤 康夫 里吉 明 渡部 隆
What's shokarkyo? SECTION2「高環境デザイン賞から JCDデザイン賞へ」
- 第15回 1997年 JAPAN SHOP
北野 宏明 山梨 知彦 山崎 誠 隈 研吾 飯島直樹
- 第16回 ヤマギワ五番町ビル
アンドレア・プランツィ
- 第17回 11月7日/TNプロブ
面出 薫 妹島和世 安井秀夫 高城 剛 橋爪 紳也 渡部 隆
中尾 晋也 渡辺 誠
変容する高環境 ライト・トゥー・キョー JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第18回 11月11日/コクステップホール
飯島直樹 文田 昭仁 間宮 吉彦 道下 進樹 森田 泰通 水谷 光宏
里吉 明 橋田 裕司 近藤 康夫 野口 幸則
変容する高環境 ライト・トゥー・キョー南船場 JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第19回 1998年3月/JAPAN SHOP
北野 宏明 山本 理顕
- 第20回 11月25日/コクステップホール
垂水 茂樹 森田 泰通 辻村 久信 橋爪 紳也
変容する高環境 21世紀へ向けて JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第21回 12月25日/東京国際フォーラム
垂水 茂樹 山本 忠夫 大野 泰史 宮本 佳明
変容する高環境 21世紀へ向けて JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第22回 1999年2月9日/TNプロブ
ケン・ヤング
- 第23回 2000年2月9日/銀座ガスホール
高取 邦和 浜野 安宏 松下 義晴 森川 一
ブエスアイルス-いい空気 JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第24回 2月22日/ザ・フェニックスホール
石田 敏明 コシノ ヒロコ 足立 和夫 梅本 司
ブエスアイルス-いい空気 JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第25回 6月9日/ヤマギワ5番町ビル
シモ・ヘックラ
スキャンナビアデザイン JCDデザインシンポジウム
- 第26回 2001年2月19日/銀座ガスホール
宮藤 宗孝 斎藤 淳一 近藤 康夫 森川 一
資本主義なコトとデザイン JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第27回 2月21日/ザ・フェニックスホール
橋本 健二 近藤 康夫 梅本 司 森川 一
資本主義なコトとデザイン JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第28回 11月13日/アドヴァン原宿8Fイベントホール
林 洋介 北村 卓也 堀川 秀夫 マヌエル・タルディツ 米津 正臣
橋爪 紳也 飯島直樹 青木 淳
どうなる。日本の高環境デザイン? JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第29回 2002年2月22日/銀座ガスホール
ベンジエ・ウード 杉本 貴志 島野 真人 金辻 信之
Design World Wide JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第30回 2月25日/府立ワッハ上方演芸ホール
ベンジエ・ウード 橋爪 紳也 林 洋介 北村 卓也 米津 正臣
山廣 直人 高橋 俊介 金辻 信之
Design World Wide JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第31回 2月22日/アドヴァン原宿 8F イベントホール
裕田 浩司 文田 昭仁 飯島直樹 中尾 晋也
JCDデザイン賞大賞受賞者によるシンポジウム JCD/DAIKO連続デザイン
シンポジウム特別版
- 第32回 2003年3月11日/銀座ガスホール
中島 武 杉本 貴志 飯島直樹 若井 修
フー・ビジネスの今を考える。JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第33回 2月27日/大阪国際交流センター
岡田 賢一 橋本 夕紀夫 安井 秀夫 若井 修
フー・ビジネスの今を考える。 JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第34回 2004年2月27日/ザ・フェニックスホール
川元 邦規 梅林 克 關聡志 辻村 久信 間宮 吉彦 安井 秀夫
今、「住宅」がおもしろい JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第35回 3月11日/ココロホール
内田 繁 青原 太郎 北山 恒 高木 栄一 安井 秀夫 山中 徹
今、「住宅」がおもしろい JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第36回 2005年2月10日/国立オリンピック記念青少年総合センター
杉本 貴志 神谷 利徳 橋本 夕紀夫 森田 泰通 安井 秀夫
今、海外でデザイン・ビックバンが起きている JCD/DAIKO連続デザイン
シンポジウム
- 第37回 2月24日/大阪中央公会堂
瀧上 正幸 橋本 夕紀夫 文田 昭仁 間宮 吉彦 安井 秀夫
今、海外でデザイン・ビックバンが起きている JCD/DAIKO連続デザイン
シンポジウム
- 第38回 2006年2月21日/九段会館
山本 雅也 飯沼 滋樹 片山 正通 飯島直樹
それぞれのデザイン・ベンチマーク JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第39回 2月23日/大阪中央公会堂
山本 雅也 佐藤 オオキ 小坂 竜 間宮 吉彦
それぞれのデザイン・ベンチマーク JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第40回 2007年2月13日/大阪市中央公会堂
折原 美紀 菊川 鳥 堀川 文子 笠原 英理子 関 康子
それぞれのデザイン・ベンチマーク TALK JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第41回 2月20日/九段会館
五十嵐 久枝 内山 敬子 柴田 文江 手塚 由比 関 康子
それぞれのデザイン・ベンチマーク TALK JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第42回 2008年2月21日/大阪市中央公会堂
六波 羅 雅一 植松 秀王 土居 年樹 植久 哲男
Re:再生 JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第43回 2月26日/九段会館
杉本 源三 木下 龍一 小島 富佐江 松井 薫 山田 公子 植久 哲男
Re:再生 JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第44回 2009年2月18日/九段会館
グエナエル・ニコラ 迫 慶一郎 橋本 夕紀夫 岩本 勝也
global ~GLOBAL/LOCAL? JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第45回 2月26日/大阪市中央公会堂
エマニエル・ムホー 塩見 一郎 橋本 夕紀夫 岩本 勝也
global ~GLOBAL/LOCAL? JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第46回 2010年2月22日/九段会館
中村 竜治 韓 亜由美 米谷 ひろし 関 康子
クロスオーバーデザイン-架空侵犯~ JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第47回 2月26日/大阪市中央公会堂
中村 拓志 エレナ・ガリッ ジャーリーニ 飯沼 滋樹 関 康子
クロスオーバーデザイン-架空侵犯~ JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム
- 第48回 2011年2月15日/アップルストア銀座3Fホール
坂川 誠 中村 拓志 Kim Chi Ho Joel Ho
デザインの新ムーブメント East Gathering Tokyo 2011 JCD/DAIKO連続デ
ザインシンポジウム特別版
- 第49回 2月15日/橋ノ口(銀座コジックビル)
松浦 竜太郎 飯沼 滋樹 上埜内 泰輔 Jeon,Shi Hyoung Horace Pan
様々なデザイン、様々な価値 East Gathering Tokyo 2011 JCD/DAIKO連
続デザインシンポジウム特別版
- 第50回 2月16日/一橋記念講堂
坂川 誠 片山 正通 Steve Leung Park,Seong Chil
NO BOUNDARY East Gathering Tokyo 2011 JCD/DAIKO連続デザイン
シンポジウム特別版
- 第51回 2012年2月28日/東京デザインセンター
中村 善春 島塚 肇 三根 弘毅 勝田 隆夫 吉田 幹
泰(サチ) 作(り) 時(トキ) 描(き) アパレル業界におけるデザイン力
- 第52回 3月13日/大阪国際交流センター
中村 善春 島塚 肇 高橋 紀人
幸(サチ) 作(り) 時(トキ) 描(き) アパレル業界におけるデザイン力
- 第53回 2013年1月22日/東京大学
西澤 信二 窪田 茂 坂川 誠
渋谷ヒカリエから変わる渋谷の未来-次代の「街ブランディング」
- 第54回 10月26日/工学部大学
米谷 ひろし Ajax Law & Virginia Lung EUN WHAN CHO & TAIHO
SHIN 坂川 誠
3都市のそれぞれのショッピング空間とデザインを語る East Gathering Tokyo
2013
東アジアのデザイナー・建築家による空間デザイン会議
- 第55回 10月27日/六本木ヒコタウン
中村 拓志 Seiki Mori Taehee Lim 浅子 佳英
ショッピングをめぐる3都市からの報告とトークセッション East Gathering Tokyo
2013
東アジアのデザイナー・建築家による空間デザイン会議
- 第56回 2015年3月8日/恵比寿 EBIS303
名和 晃平 長谷川 潤 窪田 茂
アートからデザイン、建築へ名和晃平トークイベント
- 第57回 2016年3月10日/TOTOテクニカルセンター
於保 浩介 森田 考陽 窪田 茂
ビジュアルデザインと空間の可能性 WOW.inch-クイイベント
- 第58回 2017年2月21日/東京デザインセンター
小山 薫堂 天野 謙滋
場所がメディアになる企画 トークイベント
- 第59回 10月24日/東京デザインセンター
菅川 明
ファッションと空間 トークイベント

JCD grand finale INTERNATIONAL DESIGN AWARD 2018

JCDデザインアワードは2019年より「日本空間デザイン賞」
日本最大の空間デザインアワードとして生まれ変わります

- 1-ショップ空間
- 2-食空間
- 3-大規模商空間
- 4-サービス・エンターテイメント空間
- 5-文化・公共・コミュニケーション空間
- 6-公共生活空間



photo:平井広行

新幹線に乗っていると、海外からの旅行者が、立ち上がって風景を見るという光景を目にすることがたまにあります。彼らの気持ちをそれほど動かしているのは、窓の外に一眼見える富士山の姿です。ほぼ三角形にちかい整った台形。こうした形状の山が、世界中ほかにはないのかどうか。日本国内でも「○○富士」と呼ばれている似たような形状の山があります。けれども、「○○富士」と呼ばれるのですから、その基本は「富士山」に他なりません。古い民話的な「不死の山」から富士信仰、そして武田泰淳の小説『富士』まで無数の物語を生み出してきた富士山。もちろん、「富士は日本一の山」という意図的な匿名的作曲による児童唱歌もあり、富士山は日本の表象のひとつとなってきました。

もちろん、富士山の存在は海外でも知られてきたのでしょう。だから、新幹線から一眼見えるその姿に、海外からの観光客が色めき立つのでしょう。

その富士山が世界遺産に認定されたことで「静岡県富士山世界遺産センター」が計画されたわけですが、そのデザインには、かなり苦労されたと思います。民話から信仰そして無数の物語を生んできた誰もが知る「富士山」。それほどの存在をテーマとすると、どこから通俗的なものになりやすい。それをさけていかにデザインするか。

実際にそれを見ていないので、多言ができないのですが、プレゼンテーションのパネルを見たときに、まず感じたのは、ヴィジュアルによる構成が万博パビリオンを思わせるものでした。おそらく、1980年代以降の万博がさまざまなヴィジュアルを中心としてきた歴史的記憶があったからなのでしょう。しかし、図面を見ると、そのヴィジュアルを展開する空間の流れはきわめて自然で、万博的演出とは異なっているのではないかと感じました。

そして、なによりも外観の富士山を思わせる形態はきわめて印象的なものと感じられました。大賞にふさわしい堂々としたデザインです。

Grand Award

—JCD大賞—

5-文化・公共コミュニケーション空間
静岡県富士山世界遺産センター
(静岡県富士市宮町)
坂茂建築設計_坂茂 株式会社丹青社_高橋久弥_土井啓都

大賞評 静岡県富士山 世界遺産センター

デザイン評論家 柏木博

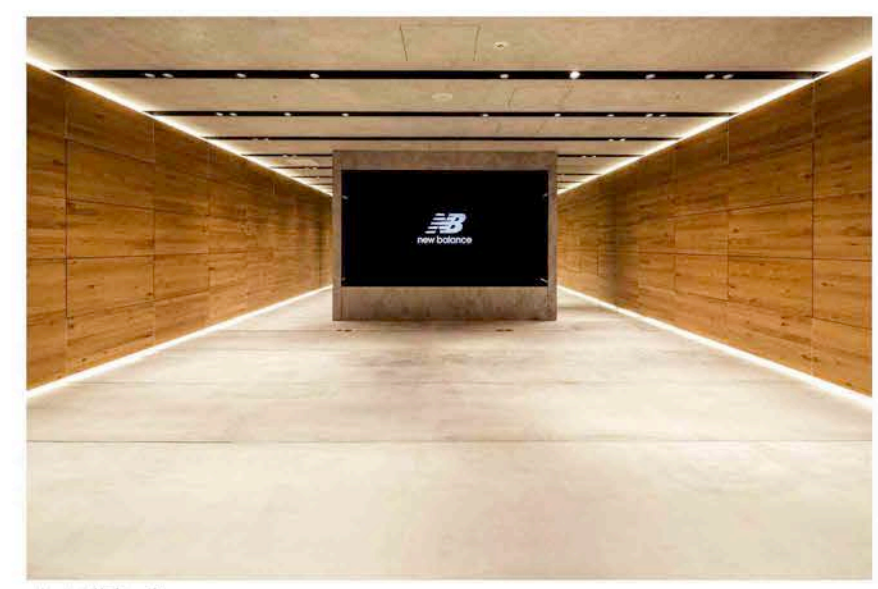


photo:藤本一貴

西尾洋一賞
1-ショップ空間
NEW BALANCE ROPPONGI 19:06
(東京都港区赤坂)
New Balance, Inc. + 株式会社 アクシス_皆川 雄一



photo:ナカサ&パートナーズ 仲佐 猛

1-ショップ空間
メルセデス・ベンツ和歌山
(和歌山県和歌山市毛見字馬瀬)
窪田建築都市研究所
大和ハウス工業株式会社



小坂竜賞 橋本夕紀夫賞
4-サービス・エンターテイメント空間
WUHAN WUSHANG MALL CINEMA 9F
(中国武漢市)
AJAX LAW, VIRGINIA LUNGONE
PLUS PARTNERSHIP LIMITED (香港)



photo:Shinkenchiku-sha

Gold Award

—JCD金賞—

4-サービス・エンターテイメント空間
Colobockle Nest
(北海道尾道市大樹町芽武)
九州大学_谷口和広_奥村光城_東大貴
清水建設株式会社_遠藤由貴
アラップ_鹿嶋 渉
鹿島建設株式会社_華田健人
株式会社久米設計_西村宇央
NKS architects_大谷芽生_野原匠実



photo:スターリン エルメンドルフ

6-公共生活空間
まつばらクリニック 泌尿器科
(兵庫県姫路市駅前町271)
株式会社マツバアートワークス/KTX archiLAB_松本哲哉



新人賞
1-ショップ空間
SunnyHills To-Go at Taipei A9
(台北市信義區松壽路)
SAND_西川拓、堂園有、大村聡一郎



photo:ナカサ&パートナーズ 河野政人

仲佐猛賞
2-食空間
中国料理 彩
(東京都大田区羽田空港)
株式会社松井亮建築都市設計事務所_松井亮

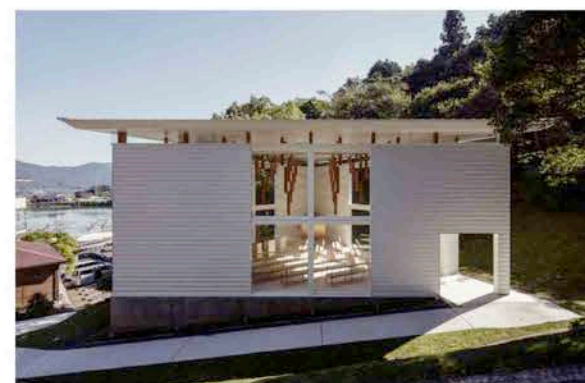
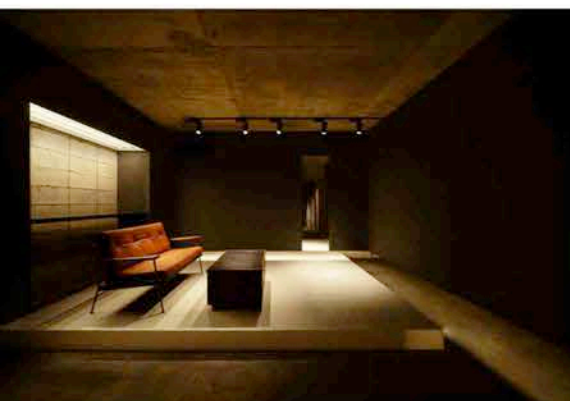


photo:田中克昌

4-サービス・エンターテイメント空間
湖畔の森教会
(佐賀県武雄市)
有限会社小川博央建築都市設計事務所_小川博央



新人賞
1-ショップ空間
HUDSONS
-A Shoe Lounge at the Wednesday night-
(神奈川県横浜市神奈川区松本町)
株式会社プラスマイズアーキテクト_真泉洋介

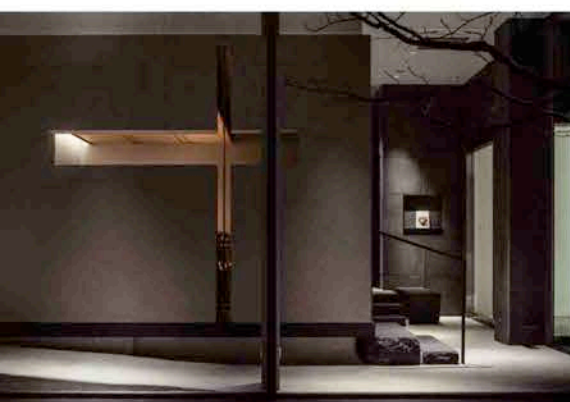
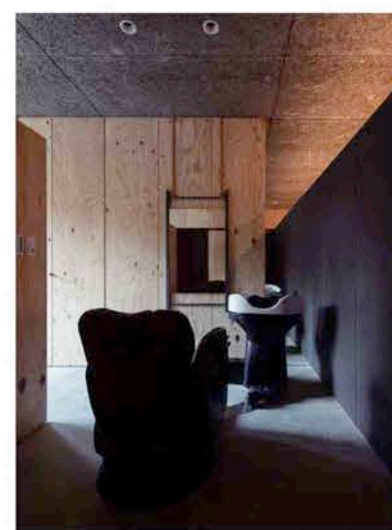


photo:見学友宙 Tomooki Kengaku

2-食空間
青藤 丸万
(愛知県名古屋市中区)
YLANG YLANG_藤川祐二郎+金環実



田中仁賞
4-サービス・エンターテイメント空間
REGALO
(東京都品川区)
タカラスペースデザイン株式会社_湯口巖

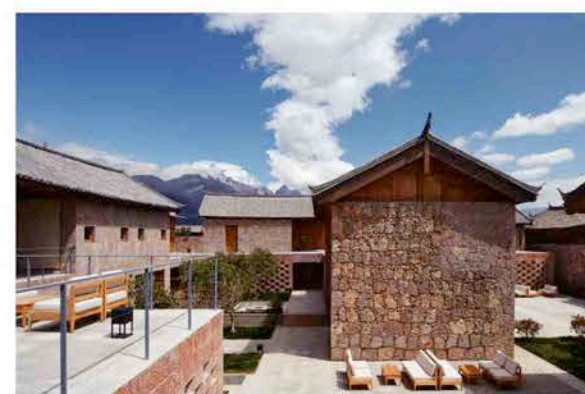
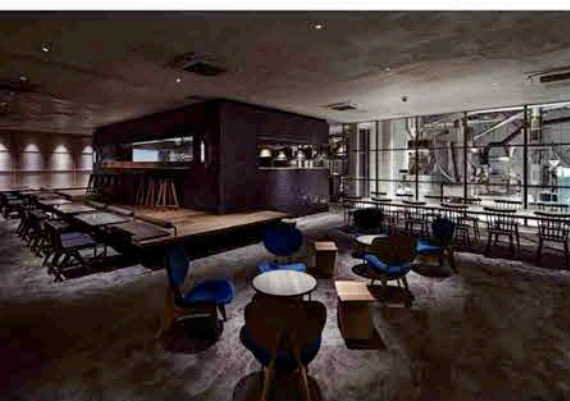
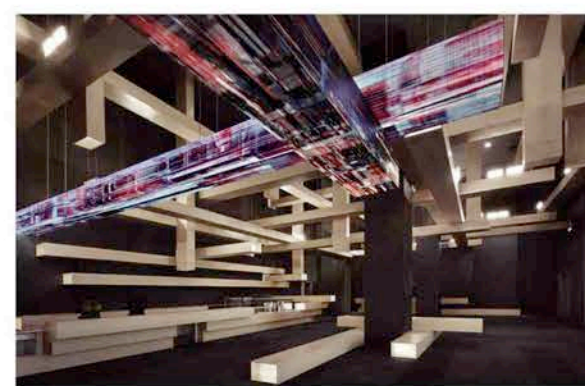


photo:北京観景 広松美佐江、宋翌明

西沢立衛賞
4-サービス・エンターテイメント空間
青香麗江白沙文化行館
(中国麗江白沙鎮白沙行政村忠義四社)
堤由匡建築設計工作室_堤由匡



2-食空間
猿田彦珈琲 調布焙煎ホール
(東京都調布市)
サポーズデザインオフィス_谷尻誠、吉田愛



4-サービス・エンターテイメント空間
XIANGYANG FANYUE MALL INTERNATIONAL CINEMA
(中国瀋陽市)
AJAX LAW, VIRGINIA LUNG ONE PLUS PARTNERSHIP LIMITED (香港)

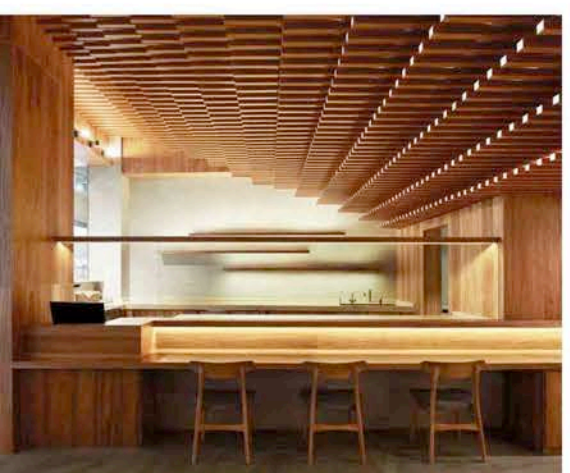


photo:北京観景 広松美佐江、宋翌明

2-食空間
上海銀シャリ屋
(上海市黄浦区湖濱路)
堤由匡建築設計工作室_堤由匡



5-文化・公共・コミュニケーション空間
ふじおか幼稚園
(栃木県栃木市藤岡町藤岡)
アトリエテンマ_長谷川演



5-文化・公共・コミュニケーション空間
倉庫
Koizumi Studio_小泉誠

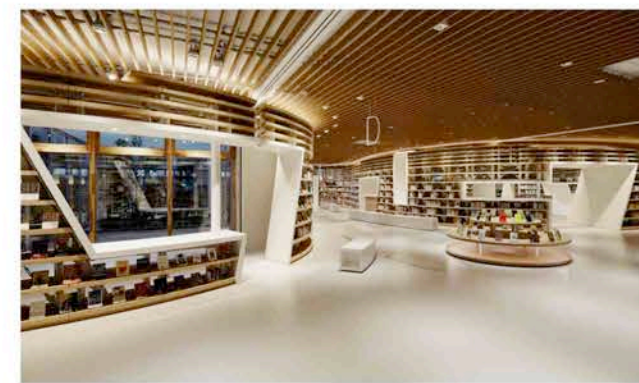


photo:石田薫

5-文化・公共・コミュニケーション空間
菊池市中央図書館
(熊本県菊池市原町)
株式会社乃村工務社_中村和延



photo:DARUMA 尾崎芳弘

5-文化・公共・コミュニケーション空間
知識の縁の集
(愛知県西尾市一色町小森船江東)
株式会社POINT_長岡勉

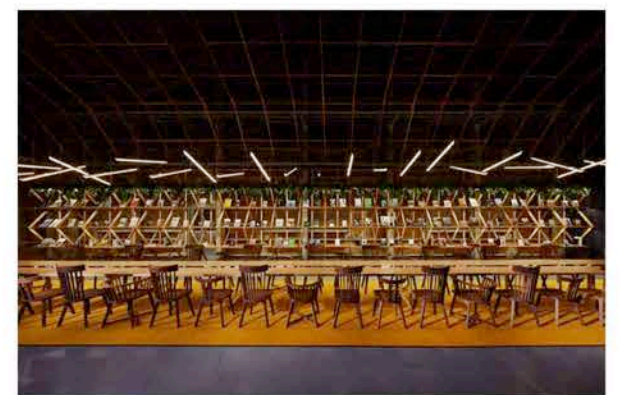


photo:ナカサ&パートナーズ 河野政人

6-公共生活空間
WOODY PARTS Factory Office
(富山県高岡市能町)
株式会社乃村工務社_越藤博明

—JCD特別賞—

出原秀仁賞
2-食空間
空野 南船場店
(大阪府大阪市)
株式会社ムーンバランス_辻村久信、高野菜々絵

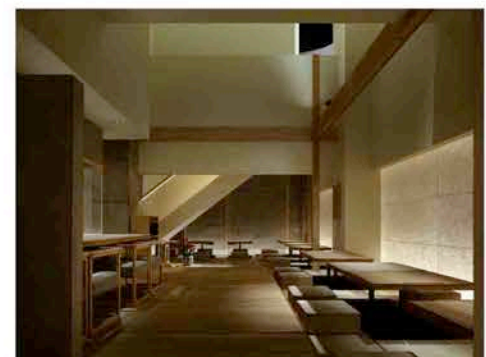


photo:繁田諒写真事務所_繁田諒

柏木博賞
4-サービス・エンターテイメント空間
プライベート劇場 森の邸宅
(神奈川県横浜須賀町大矢部)
株式会社曾根靖裕デザイン事務所_曾根靖裕

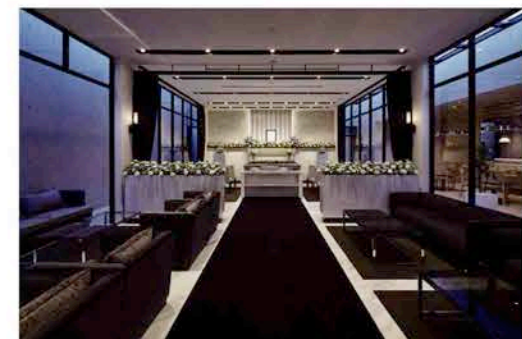


photo:Nacasa & Partners

JCD INTERNATIONAL DESIGN AWARD 2018

■1次審査 審査員:飯島直樹 若佐達雄 若本勝也 内山敬子 佐藤裕史仁 大塚真司 小田秀樹 折原美紀 空原英里子 鹿目久美子 上垣内泰輔 窪田茂 小泉 誠 高橋 恵 太田 通 永井貴久 長尾勝彦 中村裕輔 中村茂雄 萩原 剛 長谷川 演 原田啓二 深田勝哉 文田昭仁 不破淳二 森田雅美 山里健市 渡邊哲也
■2次公開審査 審査員:出原秀仁 柏木 博 小坂 竜 田中 仁 仲佐 猛 西尾洋一 西沢立衛 ※橋本夕紀夫 (※審査員長)

総評

橋本夕紀夫

今回の審査の中で、大賞に輝いた静岡県富士山世界遺産センターと最後まで競い合った作品が、中国のWUHAN WUSHANG MALL CINEMAであった。この作品はひととき異彩を放っていて、審査の最初から得点を増やし結果的に最終選考まで上り詰めていった。執拗なまでに円形のモチーフを重ね合わせて作られた空間からは、底知れぬエネルギーとパワーが感じられた。個人的な感想ではあるが、そこにはある種の既視感と懐かしさを感じることができた。おそらく現在の日本のインテリアや建築のデザインシーンは、世界の中でもトップレベルにあり、非常に成熟しているといえるだろう。実際今回の応募作品のほとんどが、空間としてまとまりがあり破綻をきたしているようなものがなかった。その分、強烈に心に訴えかけてくるようなものもあまりなかったように思う。日本のインテリアデザインが大きく開花したのが、大阪万国博覧会が開催された1970年前後だと一般的には言われている。日本の高度成長期ということもあって、とてつもないエネルギーと実験精神にあふれた新しい考え方のインテリアデザインがその頃生まれはじめた。そこで開発されたデザインは世の中に新しい価値観を創出し、刺激を与え、豊かさにはバリエーションがあるということを提示していった。社会的な影響を与えるのみならず、次世代のクリエイター、デザイナーを目指す若者たちにも夢と希望を与え続けていった。この中国の作品からはその頃の熱気と呼び起こすような力を感じられた。奇しくも、今年の4月に、インテリアデザインのバイオニアである杉本貴志さんが逝去された。これを一つの節目として今一度日本のインテリアデザインを問い直すときがきているのかもしれない。そしてJCDもまた変化しようとしている。この2018年をもってJCDデザインアワードはピリオドを打ち、来年よりJCDとDSAのアワードが統合され日本空間デザイン賞として発足される。さらなる日本のインテリアデザインの発展を願って、2019年からの日本空間デザイン賞に期待をしたい。

日本空間デザイン賞 KUKAN DESIGN AWARD 2019 SPATIAL DESIGN INITIATIVE JAPAN

JCDデザインアワードは2019年より「日本空間デザイン賞」日本最大の空間デザインアワードとして生まれ変わります

1974年に創設された JCDデザインアワードは商環境を軸とした空間デザインの価値と可能性を半世紀の間顕彰してきました。2019年独自の Kategoriy で実績のあるJCDとDSAのアワードが統合し、新たに「日本空間デザイン賞」を創設しました。日本で唯一かつ最大の空間アワードとなった「日本空間デザイン賞」は日本から優れたデザインやデザイナーを輩出、発信し、世界に向かって価値や評価を高めていきます。空間デザインのさらなる可能性を広げ、創造的な社会に貢献していくことを目指します。

<https://compe.japandesign.ne.jp/kda/>

デザイナー430名が選ぶ NEWプロダクトデザイン



本年度の「JCD プロダクトオブザイヤー 2018」の結果を発表致します。

JCD 賛助会員の皆様には、今年もさまざまな素敵なプロダクトを多数ご応募頂きましてありがとうございました。

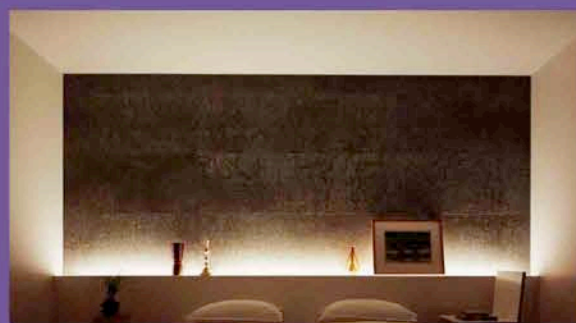
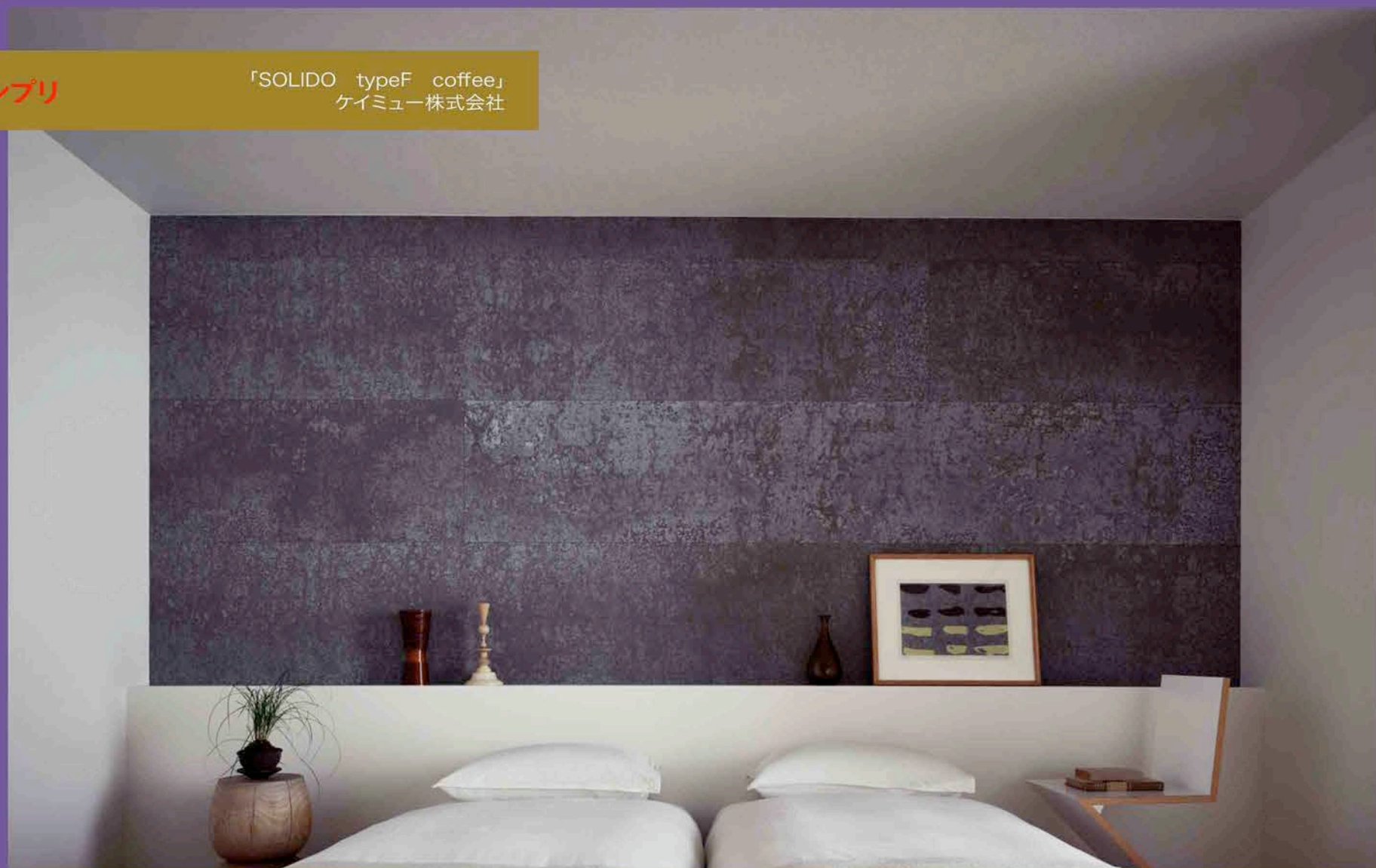
JCD プロダクトオブザイヤーも12年目を迎え、更にパワーアップさせる様、頑張ってください。

これからさらに素晴らしい作品をご応募頂ける事を楽しみに致しております。今後ともよろしくお願い致します。

賛助委員会委員長 森川 一

グランプリ

「SOLIDO typeF coffee」
ケイミー株式会社



JCDプロダクトオブザイヤー2018受賞者コメント

ケイミー株式会社 武田尚子

塗装による着色を行わず、セメントの素地そのままの自然な表情を魅せるリサイクル内装ボード「SOLIDO typeF coffee」。

火力発電所で発生する石炭灰のほか、コーヒーショップから出る使用済み紙コップや豆かすなど多岐にわたる身近な廃棄物を配合しています。

1枚1枚の表情が異なり、自然なムラによる風合いと、温かみのある室内空間を演出します。

新しい素材の力が誕生した。

今の時代の無垢材はリサイクルと人の手によるハイブリッド。決して主張せず主役の脇をしっかりと固める自然の風合い。本物は色あせず、他にはない確かな味わいを醸し出す。

(選評/JCD 元理事長 長谷川演)

ケイミー株式会社

大阪市中央区城見1丁目2番27号 クリスタルタワー13F
TEL:06-6945-8134 FAX:06-6945-8072
<https://www.kmew.co.jp/>

2位 準グランプリ

ZLシリーズ TLP02305J
TOTO株式会社



自然の流れを人の手がコントロールするプロダクト。その今までの常識を横目にステンレスのエッジは豊かな水流を見せてくれる。極限の薄さは新しい水の形を生み出し日常にシャープなひとときをつくり出す。
(選評/JCD 元理事長 長谷川演)

JCD プロダクトオブザイヤー2018受賞コメント

TOTO株式会社 高橋 泰

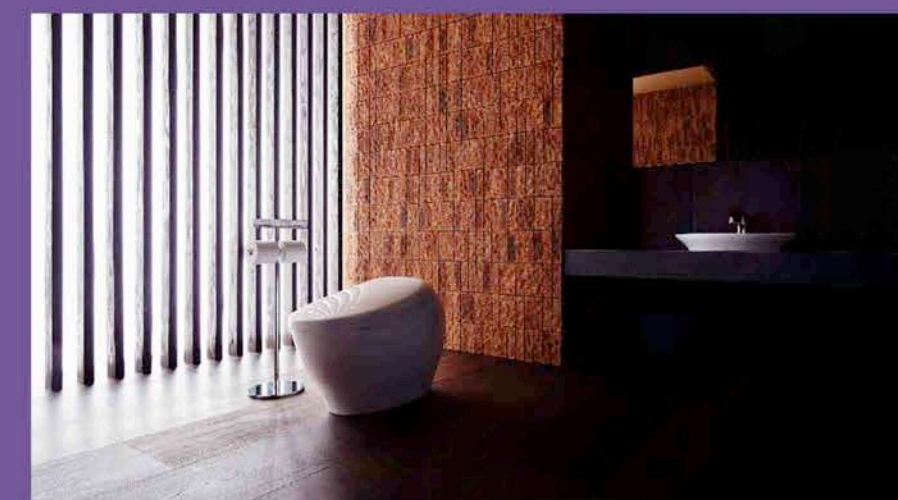
商環境に関わる皆様から高い評価を得て栄えある賞をダブル受賞させていただき、大変うれしく、また感謝しております。ZLシリーズ、ネオレストNXともにTOTOの技術力とデザイン性を高い次元で融合させたプロダクトです。商空間に広くご採用いただき、インテリアを豊かにし且つクオリティーを高めていくお手伝いができればと考えています。

白の塊から削り出した彫刻のような佇まい。自然から生まれたかの有機的フォルムに詰め込まれた最先端。そして考え抜かれた緻密なディテール。日本の誇るプロダクトのスタンダードはここでさらに新しいステージへ上った。

(選評/JCD 元理事長 長谷川演)

TOTO株式会社

福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1
TEL:0570-01-1010 技術相談室(ナビダイヤル)
FAX:0570-01-2111
<https://jp.toto.com/>



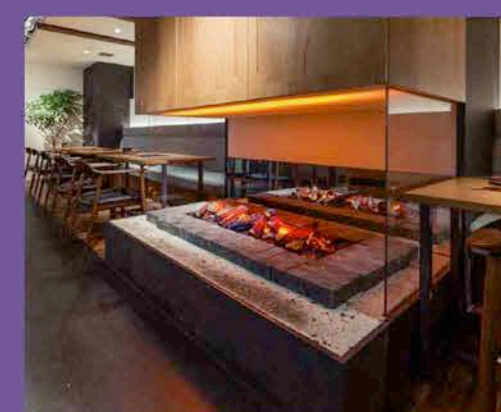
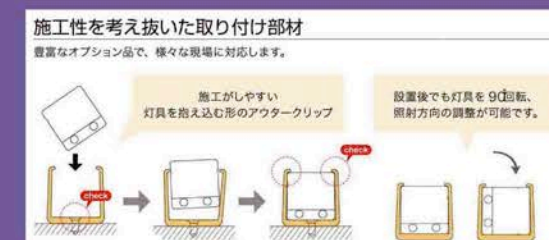
ネオレストNX CS900B
TOTO株式会社

3位 準グランプリ

4位 「ルーチ・シルクス100V」/株式会社Luci

誕生 AC100V極細ライン照明

LSXAC
ルーチ・シルクス® 100V



5位 「ビルトイン電気暖炉カセット500」/株式会社ディンプレックス・ジャパン



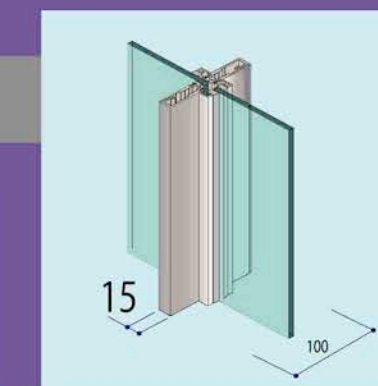
光とミストで炎を創る
Dimplex 電気暖炉 オプティミストシリーズ
「Cassette500」
カセット500



6位 「内部用スリムフロント」/昭和フロント株式会社

方立・無目見付 15mm、
シンプルでスリムな内部専用スリムフロント

- 方立・無目の見付を15mmにしたシンプルで蓋仕性の高いアルミ製の内部用フロント。
- 従来製品 (NL200・NL300・NL400) と互換性を持たせることで様々なバリエーションを実現。
- 開口部には「寸番ドア」「半自動引戸」「自動ドア」「フロアセンシッドア」が組込可能。
- 適合商業施設の店舗や間仕切り、空港・鉄道などの交通機関施設内の店舗、テナントビルオフィスのエントランスや間仕切り、喫煙ブースに。



6位 (前ページ8位と同位)

「ALBEAM ブラケットライト」
不二サッシ株式会社

ALBEAM
Curtain Wall



光のグラデーションが
表情豊かなファザードを演出

カーテンウォールの方立や、無目に取り付ける
化粧フィン一体型のLED搭載型建材システム
「ALBEAM Curtain Wall」。
カーテンウォールに取り付けた化粧フィンの内部を
照らし上げる光のグラデーションが、建築のファザードを
表情豊かに引き立たせます。

9位

「MARS CV HYDRAシリーズ」
株式会社Luci

MARS IP20

ダウンライトの革命児。

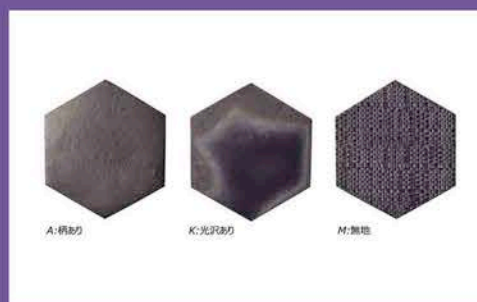
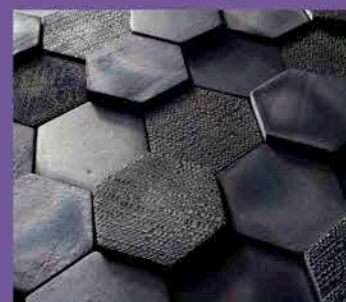
- ▶ 選べる2560通りの特注パターン 筐体色×明るさ×色温度×照射角×長さ
- ▶ 2mまで特注可能 超細線ライン型ダウンライト



8位

「キュリヘキサゴン」
株式会社アベルコ

愛媛県で750年間続く伝統的な技術から生まれた瓦タイル。
職人が一枚一枚、手作りで仕上げたこだわりの逸品です。
3種類の面状・厚み(12・18・24mm)と特徴的な「いぶし銀」の風合いで、繊細な和の空間が広がります。



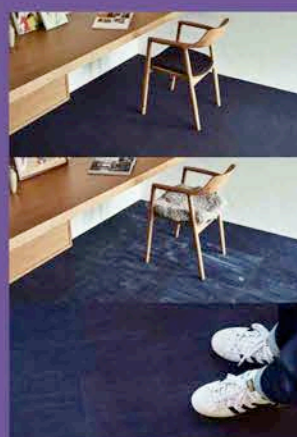
9位 (同位)

「デニムフロアシリーズ」
田島ルーフィング株式会社

THE
DENIM
FLOOR

デニムフロアシリーズ

月日の流れを鏡のようにして
人生のように深みを増していく。
成熟する青。
デニムで床をつくれなにか。
カイハラとTALIMA。
私たちの新しい挑戦は、
床に「育てる喜び」を伝えたい
という発想からはじまりました。
伝統と最新の技術が出会い
喜びという概念から床を自由にする。
時の経過が、豊かな表情を生み出す。
新たな価値を想像する。



とんかつ
まい泉

『箸で切れるやわらかなとんかつ』でお馴染み、
東京青山のとんかつ専門店です。
1965年の創業以来変わらないこだわりの味をお楽しみください。

東京都渋谷区神宮前 4-8-5
お問合せ：0120-863-971(平日 9:00 ~ 18:00)
<https://mai-sen.com/>

石のソリューションカンパニー

石の厚さを2ミリまで薄切りできる技術が我が社の強みです。

石材にタイル、ハニカム、ガラス、FRPなどを組み合わせた

複合板で石材だけでは解決できないお客様の課題を解決する

「石のソリューションカンパニー」を目指します。



ESGパネル(石材+ガラス)

石材に関することは、何でもご相談下さい。



ソリュート株式会社
〒101-0031 東京都千代田区東神田2-7-1 (広部ミヤビル6F) TEL.03-5809-2815 FAX.03-5809-2816
<http://www.esgjapan.com>

株式会社ESG JAPANは、ソリュート株式会社に社名変更いたしました。

Design Award

2019 NAGOYAMOSAIC

WE ARE LOOKING FOR
BEAUTIFUL BUILDING WORKS
COLORD WITH TILES FOR THE AIM TO
EXPAND POSSIBILITIES OF TILES

2019.4.1mon-6.30sun

名古屋モザイク工業では、
タイルの可能性と魅力をさらに日本へ広めるべくタイルで
彩られた楽しく美しい施工事例を募集します。

Entry

募集期間 2019年4月1日(月)~6月30日(日)

応募条件

名古屋モザイク工業の商品が使用されていること。
2017年7月1日~2019年6月30日までに日本国内外でタイルを使用した
建築物(戸建住宅・集合住宅・店舗・教育・医療施設・公共施設)や造形物など。
デザインアワード2018に応募された作品は対象外。
応募・受賞後の作品発表について施工・関係機関の了承が得られていること。

応募資格

応募作品の施主または、設計者・デザイナーであること。

応募方法

名古屋モザイク工業 ホームページの応募フォームよりご応募ください。
(2019年4月1日受付開始) お一人様 何点でもご応募いただけます。
ただし、応募一回につき1作品とします。

提出物

施工例写真画像を最低1点~最大4点、平面図1点を添付してください。
※平面図は審査のみに使用し、公開はいたしません。スキャン・手描きでも可能です。

審査基準

タイルの新たな可能性が感じられ、オリジナリティーにあふれる作品。
審査委員の合議の上、総合的に審査します。

結果発表

2019年9月中旬に、ホームページにて発表します。
ご応募頂いた施工写真は、弊社カタログ・SNS等で使用させていただく場合がございます。

Awards

金賞 50万円 銀賞 30万円 銅賞 20万円 入賞 10万円
住宅・非住宅各1点 若干名

Jury members



<p>Astrid Klein アストリッドクライン 建築家 クラインダイサムアーキ テクト代表。イタリア生ま れ。ロンドン・RCAを卒業 後、マーク・ダイサムと共 に現事務所を設立デザイ ンや建築に関する国際会 議にも多数出席。</p>	<p>Jun Inokuma 猪熊 純 建築家 首都大学東京助教 / 成瀬 ・猪熊建築設計事務所主 宰。代表作に「豊島八百万 ラボ」「LT城西」など。第15 回ヴェネチア・ビエンナ ーレ国際建築展 国際特別 表彰など、受賞多数。</p>	<p>Kenichi Shiota 塩田 健一 月刊「商店建築」編集長 東京生まれ。2006年より 1956年創刊のストアデザ イン専門誌「月刊商店建築」 編集部所属。各種特集 頁や数々の増刊号を手掛 け、2017年2月編集長に 就任。</p>	<p>Tatsuhiro Hayata 早田 辰比呂 代表取締役社長 広島生まれ。名古屋モザ イク工業(株)代表取締役 社長。顧客第一の姿勢で 営業前線に活躍した後、企 画・営業統括時代を経て 2016年春、5代目社長とし て就任。</p>
--	---	---	---

写真提供 / 株式会社クラフト「選子のセカンドハウス」(DA2018 住宅部門 金賞 入賞作品)

nagoya-mosaic.co.jp/ f i o

TILE X ART

NAGOYA MOSAIC

JCD Commission Reports

国際委員会「今年度の活動」



JCDのメンバーの方も、国内だけでなく海外の仕事を展開されたい方や、考えている方も多いと思います。国際委員会では、香港、台湾、シンガポールなどのインテリアデザイン協会と共催する、交互のデザインセミナーイベントのイーストギャザリングの共催や、環太平洋の各国のデザイン団体のアソシエイトである、APSDAへの参加など、国際的に繋がりをもつ活動を行っています。また JCDのアワードの海外に対する告知や、海外のアワードの情報を会員に向けての発信を行なっています。日本だけでなく、他国のインテリアデザインの活動を知ったり参加したり、他国のデザインアワードに対する応募なども、会員さん自身にとって、これから大変重要な要因になると考えます。

今年度の活動は、allianceからAssociateへの変換をここ数年行なっているAPSDA、台湾でのTIDの中で行われた会議への参加、また今年秋に予定されている香港EGの下打合せが主なものととなりました。国際委員会はこれからも、会員さんに意味のある、ある意味では柔らかない、国際的な近所付き合いを大切に活動していきたいと考えています。

(国際委員長 武石正宣)



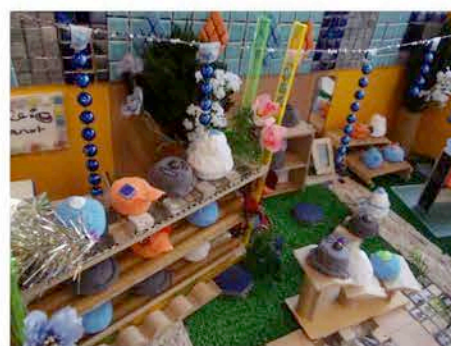
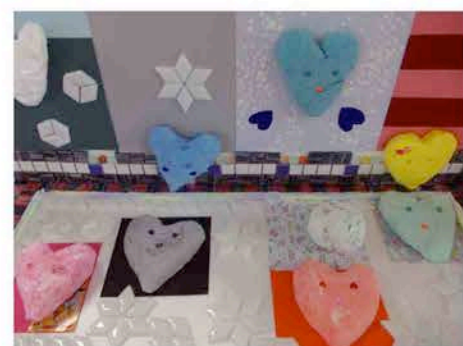
SODA委員会「感性の風土」



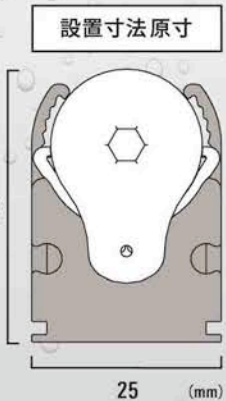
“酔屋の坂”を子供たちが登校してきます。ここは城下町の風情がそのままの大分県杵築市。昨年の11月27日、九州地区で初めてとなる小学校出前授業を実施いたしました。杵築市立杵築小学校は明治6年創立、江戸時代の藩校の門が残る由緒ある小学校で、本部から9名、九州支部から11名の講師が参加、6年生96名を対象としたワークショップです。今回のワークショップは、杵築市長を先頭に行政の積極的な協力をいただき実現いたしました。私たちは、歴史と文化に内包されてきた子供たちが一体どのような感性を持っているのか、とても楽しみました。完成した作品の前に、子供たちのプレゼンテーションに必ず出てくる言葉があります。「杵築」と「協力」です。「きつきんゆ(湯)」など、どの作品にも“杵築”が入っていて、みかん・海産物・湯・お茶といった郷土のいいものが必ず登場します。そして「みんなと協力していい作品ができました。」と発表されると、制作中もグループ間での道具や素材のやりとりといった協力が行われていました。都市部とはまた少しちがう、町を基盤とした「関係性」を感じました。給食の時、「先生は東京？東京に行ってみないあ。でもやっぱり杵築がいい!!」と話してくれた子供たちが印象的でした。

年が明けて2月15日、福島県郡山市立富田東小学校でSODA活動史上最大規模となる4年生169名を対象とした出前授業を実施いたしました。東北支部主催で支部から41名、本部からの応援3名の総勢44名の講師が参加。とても明る元気な4年生で、自由奔放な発想には驚かされました。かぶると好きな天気になる天気帽子を売る店「テンキハット」、体が自由自在に伸びるガムなどを売る大人には見えないがし屋さん、いろいろな気持ちを持つ店「きもちや」はとてもユニークな世界観を提示しています。その他にも最後まで読むと願いが叶う図書館など、4年生には「不思議・魔法・夢・願い」がいっぱい。富田東小学校の子供たちも「みんなで力を合わせてつくって楽しかった。」と、「みんな」という言葉がみんなから聞かれました。2008年からこれまで、さまざまな地域で約60回の出前授業を実施してまいりましたが、子供たちの内にある地域に根ざした“感性の風土”のようなものを感じています。日本海の漂着物を素材にした秋田の子供たち、緻密な作業を積み上げる東松島の子供たち、日本文化とアメリカ文化をコラボレーションする沖縄の子供たち……。子供たちは好奇心を持って日常を観察し、発見して感動し、発想していつも創造を楽しんでいます。SODAは、もっともっと日本全国の子供たちの“感性の風土”に出会いたいと考えています。

(SODA委員長 新藤 力)



防滴・防湿 IP65 ルーチ・エフロ
ドットレスライン照明 Luci EFRO



“浴室・洗面所・半屋外に”

- ・ドットレスで柔らかい光
- ・高効率、高演色、Macadam 3stepの安定した色味
- ・5色のカラーバリエーション(4200K, 3500K, 3000K, 2700K, 2400K)
- ・5種のサイズバリエーション(162 mm, 302 mm, 582 mm, 862 mm, 1142 mm)
- ・オプション品のアルミレールで見せる設置も可能

詳細はHPへ



MARS NANO family IP40

ダウンライトの革命児

幅広い特注サイズ対応
最小 139 mm ~ 最大 2,014 mm

最適なビーム制御のための
ナノレンズ

黒い反射板による最適な
グレアコントロール - UGR<13

本体外側 フラック・ 本体内部 フラック	本体外側 シルバー・ 本体内部 フラック	本体外側 ホワイト・ 本体内部 フラック	本体外側 ホワイト・ 本体内部 ホワイト
-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

灯具の断面サイズ W 41.5 mm x H 33 mm (埋め込み)

灯具の長さ 139 mm ~ 2,014 mm

消費電力 5 W/m ~ 40 W/m

光束 最高 3,590 lm/m

消費効率 105 lm/W

ビーム角 15°, 25°, 40°, 65°

色温度 2,000 ~ 5,000 K, IQ White

演色性 Ra95

LED LINEAR site



JCD Commission Reports

IDM TOKYO 2018 「デザイン再起動」



日本のインテリアデザインは戦後のモダニズムデザインの浸透と共に、1950年代末あたりから職能領域として成立し、インテリア関連の職能団体も得意分野に応じて発足してきました。今、そうした関連団体を見渡すと、驚くことに100以上がインテリア領域として登録されています。しかし同じ背景を持ちながら、それぞれの団体が連携することは極めて少なく、それぞれの活動も業界に閉ざされているように見えます。インテリアデザイン領域の次世代の発展が望まれる今、こうした現状の打開を議論することが多くなってきました。

そこで発足したのがインテリアデザイン領域を横断する連携プログラムIDM=Interior Design Meetingです。JCDをふくめJIPA(日



撮影:辻谷 宏(株式会社ナカサカンドパートナーズ)

本インテリアプランナー協会)、JID(日本インテリアデザイナーズ協会)、JFICA(日本フリーランスインテリアコーディネーター協会)、icon(日本インテリアコーディネーター協会)、JASIS(日本インテリア学会)、IALD Japan(日本国際照明デザイナーズ協会)など25団体の協力、後援によって2017年12月に発足しました。ゆるやかな連携を主眼として、プロジェクト駆動型の活動を行います。

その最初のプロジェクトが「IDM TOKYO 2018/デザイン再起動」(2018/11/30-12/2)です。青山スパイラルガーデンにおける大掛かりなデザイン展、デザインセミナー、そして展示されたデザインを審査するアワードを開催しました。青山の立地もあり一般の方々を含め、述べ4000人以上の訪問者がありました。JCDからは武石正宣と高橋正明のトーク、橋本夕紀夫+はやしまりによる展覧会場インスタレーション、アワード審査員(飯島直樹、窪田茂、橋本夕紀夫、丹羽浩之、高橋正明)などにおいて参加し、IDM TOKYO 2018 AWARD大賞には浦一也JCD会員が選ばれました。

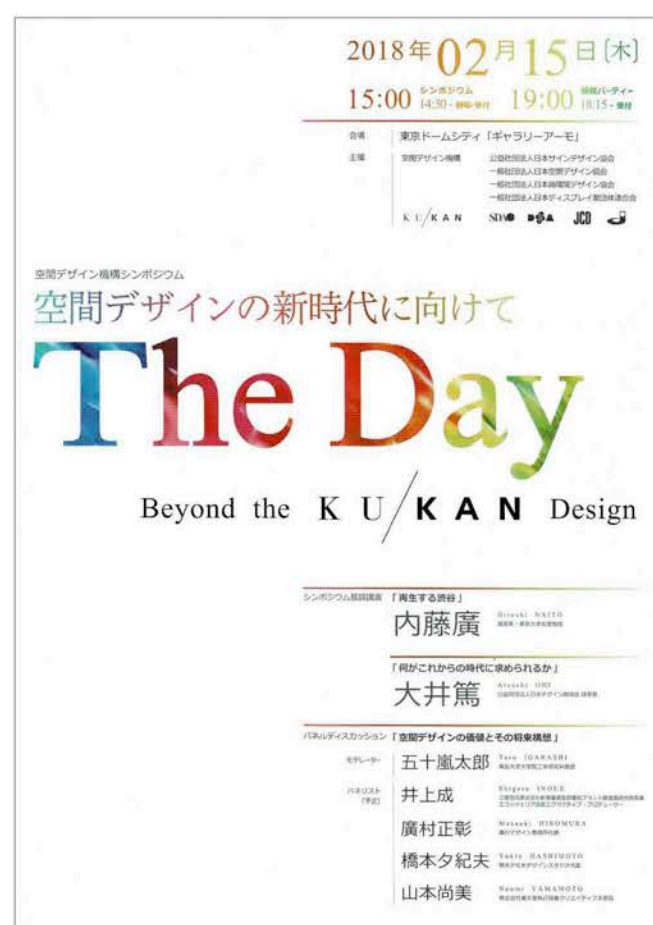
この展覧会プロジェクトはピエンナーレ方式で開催することが決まり、2020年末にはJCDが主管団体となり、新たな企画で開催予定です。

(JCD 広報委員長、IDM 実行委員長 飯島直樹)

心地よい住空間実現のため、
建築家、施主、施工者とのコラボレーションや、
質感コーディネーションにより、
お客様とともに、求められる空間を具現化します。



The Day ~Beyond the KU/KAN Design~



JCDが参加するデザイン4団体の連携「空間デザイン機構」は、2018年2月15日、東京ドームシティにて大がかりなデザインシンポジウムThe Dayを開催しました。

空間デザイン機構発足の13年目に際し、空間デザインの将来構想をテーマとし、建築家の内藤廣氏と日本デザイン振興会理事長の大井篤氏による講演が行われました。その後、建築評論家五十嵐太郎氏のモデレートによる井上成氏、廣村正彰氏、橋本夕紀夫氏、山本尚美氏のパネルディスカッション、そして参

加者500名もの懇親会が行われました。

The Dayは2019年に新しく起動するアワード「日本空間デザイン賞/KUKAN Design Award/Special Design Initiative JAPAN」のキックオフの場でもありました。これを機に、空間デザイン機構は、空間デザインの文化的、社会的意義を振り起こし、未来につなげる活動を推進します。

(空間デザイン機構理事 飯島直樹)



アイオーシー株式会社

名古屋本社 / 名古屋ショールーム 名古屋市東区葵 1-6-7 大昌ビル 3F TEL : 052-931-3337 FAX : 052-930-3502

東京支店 / 東京ショールーム 東京都港区南青山 6-10-18 トライアングル南青山ビル B1F ショールーム予約専用ダイヤル : 03-6450-6418

大阪ショールーム (非常駐) 大阪府中央区南船場 4-13-18 四つ橋 FYS ビル 7F ショールーム担当直通 TEL : 080-4523-8900



Interior Oriented Collaboration
www.iocjapan.biz

JCD Commission Reports

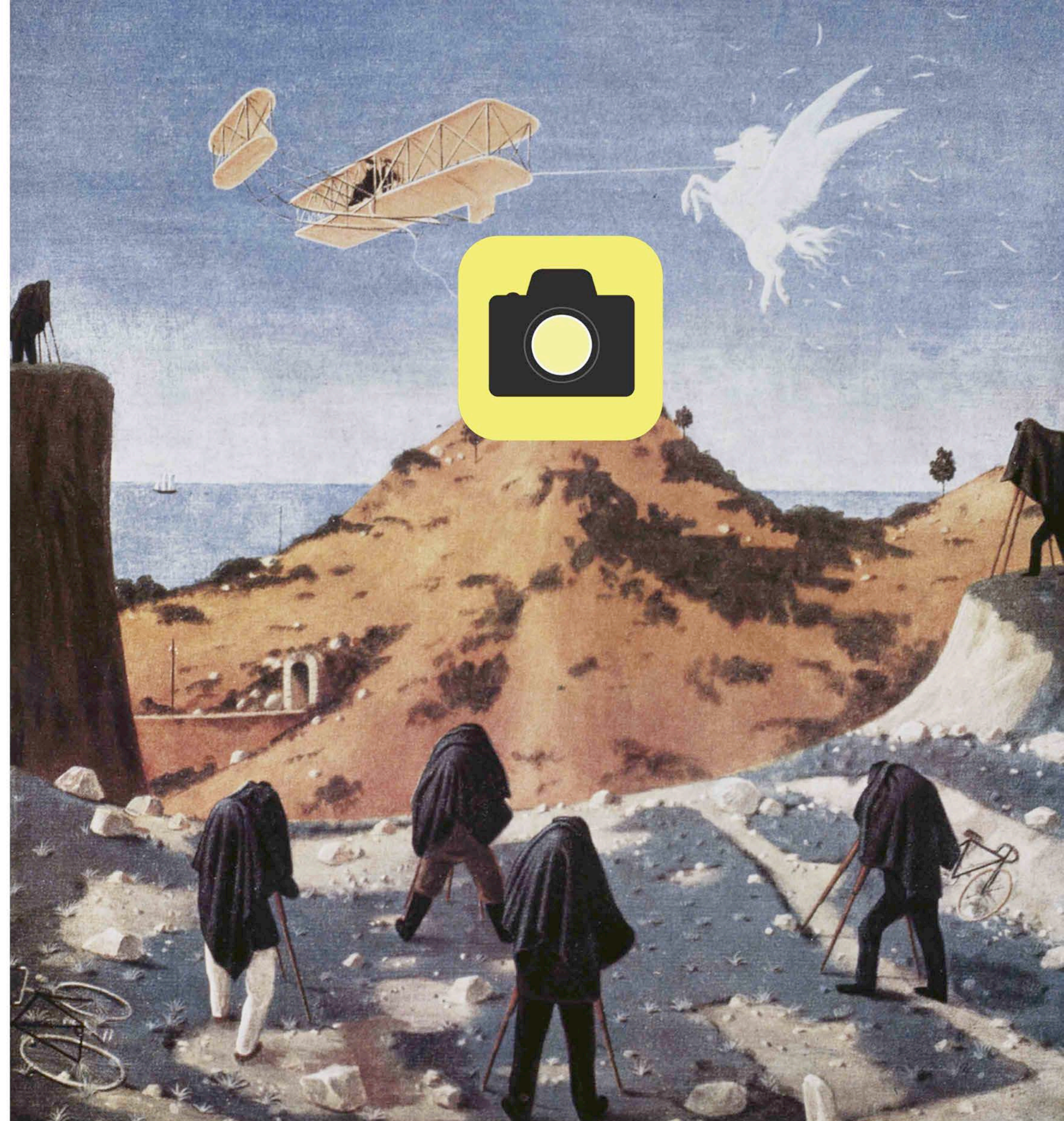
女子会「ここでしか聞けない旬な話」

JCD女子部は、デザインに関わるお仕事をしている方はもとより、デザインに興味がある方など女性なら誰でも参加できる「おしゃべり会」を開催しております。場所は、デザイン事務所と併設された「社員の食堂」+「社会の食堂」のコンセプトで話題のサポーズデザインオフィスが運営する「社食堂」にて開催。毎回定期的に社食堂で開催されているポップアップショップのアーティストが参加してのイベント参加やゲストを迎えての「ここでしか聞けない旬な話」をキーワードに行われるトークショーなど、美味しい軽食をいただきながら、タメになって、ちょっとだけスッキリして帰っていただけるようなユルユルで楽しい会の開催を目指しております。

第一回はアメリカンインディアンの血を引くリーバイ・パタさん、写真家の黄瀬麻以さんと。第二回はイラストレーターの佐伯ゆうごさんとの交流や実際にライブイベントにも参加させていただきました。第三回は株式会社丹青社デザインセンタープランニングディレクター矢加部美穂さんをゲストに「デザイン経営って何？」というタイトルでこれからのデザインを通して企業との関わり合い方や私達デザイナーに出来る可能性なども探るちょっと真面目なお話を。第四回は3月22日に渋谷ストリームにデザインアーキテクトを務められた株式会社シーラカンスアンドアソシエイツパートナーの建築家、赤松佳珠子さんをお迎えして「渋谷大改革が始まった」というタイトルでプロジェクトの苦労話やこれから変貌を遂げる渋谷についてのお話をさせていただく予定です。社会で女性の活躍の場が増えていくにつれて、女性ならではの悩みも増えていきます。日々葛藤の中で精一杯の能力を発揮しようとする苦労や努力は、どの業界でも同じであり、少しでもこの会に集まる色んな方々のふれあいの中で元気な明日を迎えただけだと願っております。ぜひ一度この会にご参加くださいませ。

(女子会委員長 折原美紀)

運営メンバー
株式会社 oriharamiki design office 折原美紀
KEIKO + MANABU 内山敬子
SUPPOSE DESIGN OFFICE Co.,Ltd. 吉田 愛



左官

特殊左官工事
HARADA SAKAN

有限会社 原田左官工業所 | TEL : 03-3821-4946
FAX : 03-3824-3533

〒113-0022 東京都文京区千駄木4-21-1
E-mail : sakan@haradasakan.co.jp
homepage : http://www.haradasakan.co.jp

STYLE A TILE
http://www.ollstandard.co.jp
株式会社 オルスタンダード

OLL STAN(D)ARD
〒141-0022 東京都品川区東五反田5-25-19 東京デザインセンター内5階 TEL.03-6450-4267 FAX.03-6450-4277

commercial photography for interior design and architecture
Nacása & Partners Inc.
2-18-4 Kamimeguro, Meguro-ku, Tokyo 153-0051, Japan
Tel:+81-3-5722-7757 Fax:+81-3-5722-0909
http://www.nacasa.co.jp/

JCD Commission Reports

「タカハシツキイチとは」 広報委員会

JCD Talk Lounge タカハシツキイチ

JCD Talk Lounge
タカハシツキイチ 01

2018.7.26 (Thurs) 19:00-21:30
TDC 東京デザインセンター5階クラフテックギャラリー



Speaker 落合守征
Cordinator 高橋正明
参加費 500円 (ワンドリンク付き)
JCD Lounge ツキイチチーム 高橋彰

2018年7月の落合守征氏からはじまり、松本哲哉、井上愛之、神田亮平、武石正宣、吉田昌弘、平綿久晃・渡部智宏、岡部修三、の各ゲストが登場し、現在も続行中だ。

彼らのほとんどは、ゼロ年代はじめに、ネット環境とデザインの仕事を不可分のものとして体験し、そこからデザイン思考を掘り起こした。行動半径が大きく、デザインジャンルの縦割りからも放たれ、グローバルな活動範囲と条件とすることも共通している。

毎回ゲストのプレゼンテーションからデザインのフィロソフィ、ストラテジー、時代との格闘、国外への投企などが語られ、掘り下げられる。

今後、ゲストのデザイナー達との共同企画で展覧会やシンポジウムを開催予定である。



たかはし まさあき
文筆家・翻訳者、編集プロダクション、有限会社ブライズヘッド所属。オランダのインテリア雑誌FRAMEのライター。フリーで日本の建築、デザイン、アートを世界に向けて発信。アメリカ、イギリス、ドイツ、マレーシア、香港、国内の雑誌に寄稿。JCD(日本商業環境デザイン協会)の広報委員会アドバイザー、韓国の国際デザイン大賞K-AWARD 2017審査員を務める。キュレーターとしてDIESELのギャラリーやストアの展示構成、インスタレーションのキュレーションを行う。著書に『建築プロフェッションの解法』『建築プレゼンの掟』(彰国社)、『World Interior Design 1, 2』(商店建築社)『次世代の空間デザイン』[Sweet Interiors and Graphics] (以上、グラフィック社)、『DESIGN CITY TOKYO』(Wiley Academy 英国)等がある。

JCD

タカハシツキイチ
06 JCD Talk Lounge

2019.1.29 (Tue) 19:00-21:30
TDC 東京デザインセンター5階 クラフテックギャラリー

Guest Speaker: MOMENT / 平綿久晃・渡部智宏
Cordinator: 高橋正明
参加費: 500円 (ワンドリンク付き)

JCD Talk Lounge
タカハシツキイチ 02

2018.8.30 (Thurs) 19:00-21:30
TDC 東京デザインセンター5階クラフテックギャラリー

Speaker: 松本哲哉
Cordinator: 高橋正明
参加費: 500円 (ワンドリンク付き)

JCD Talk Lounge
タカハシツキイチ 03

2018.9.27 (Thurs) 19:00-21:30
TDC 東京デザインセンター5階クラフテックギャラリー

Speaker: 井上愛之
Cordinator: 高橋正明
参加費: 500円 (ワンドリンク付き)

JCD Talk Lounge
タカハシツキイチ 04

2018.10.26 (Fri) 19:00-21:30
TDC 東京デザインセンター5階クラフテックギャラリー

Speaker: 落合守征
Cordinator: 高橋正明
参加費: 500円 (ワンドリンク付き)

Masaki Takahashi
高橋正明

JCD Talk Lounge
「タカハシツキイチ」特別編
最新インタビューが満載、さらにはツキイチの歴史

11/30 (Fri) 19:00-21:30
TDC 東京デザインセンター5階クラフテックギャラリー

定員: 30名 無料
申込: 10/20 (Sun)まで

JCD Talk Lounge
タカハシツキイチ 05

2018.12.20 (Thu) 19:00-21:30
TDC 東京デザインセンター5階クラフテックギャラリー

Speaker: 高橋正明
Cordinator: 高橋正明
参加費: 500円 (ワンドリンク付き)

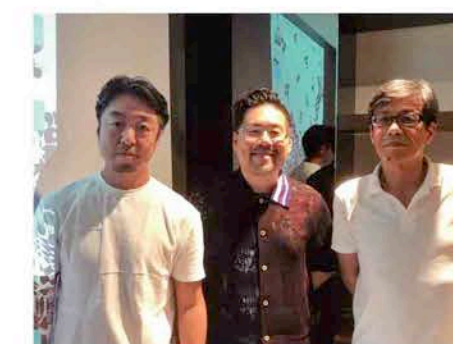


写真 「星庵 / 星空を眺める茶室群」 撮影: 荒木文雄
第一回のゲスト落合守征氏の作品、JCDデザインアワードではBEST100にとどまったが、海外のアワードを多数受賞した。星空観察の聖地と言われる岡山県・美星町に設置された、星空を眺めるための茶室群計画である。星空観察、茶会、音楽会、舞台公演のために箱状の茶室がたくさんころがる。



箱は、内外の色のレイヤー、それを増殖変形させるミラーの効果、夜の照明による色の反転など、複雑に作用する装置となっている。単純な箱の群がめくるめくような動的状況をもたらし、星の下の人々を非日常にいざなうのである。「場を作る」インスタレーション的な空間デザインの試みである。(Space Design Concierge / JCDレビュー)

ジャーナリスト高橋正明氏は、何かと気になる存在だった。昔、「商店建築」誌の編集者だったのでギョーカイ的に身近な人だったが、編集者の枠を越えて結構主張するタイプのようにも感じていた。じっさいフェイスブックでは、時に過激な物言いでハラハラする。(^^)

本業は有限会社ブライズヘッドの代表。出版物の企画、編集、制作、メディアへの執筆が業務内容となっている。建築空間系を対象にすることが多く、著作に『建築プロフェッションの解法』『次世代の空間デザイン21名の仕事』『Design City Tokyo』、近著に『ジェフリー・パワー全仕事 (ディビット・ロブソン著)』の翻訳などがある。オランダのデザイン誌FRAMEやMARKなどの海外デザイン誌への寄稿は、日本の空間デザイン発信におおいに貢献した。

氏はさらに岡田公彦展、丸田絢子展、松原滋 with assistant展、KEIKO+MANABU展、GENETO展、谷尻誠展、POINT展、大野力+SINATO展、堤由匡展などの展覧会のキュレーションも手掛けているのだが、これらの方々ほとんどはゼロ年代のJCDデザインアワードを席巻しており、日本の空間デザイン領域の時代的な兆候として興味深い。このように多彩な場面で、高橋正明氏は気になる存在だったのである。

タカハシツキイチは、そんな高橋氏を招聘し、JCDとして空間デザインの一步先を問いかける試みである。月一回やろうというのでツキイチとネーミングした。高橋氏がパーソナリティとなり毎回ゲストを呼ぶ。主にJCD本部事務所がある五反田の東京デザインセンター5階クラフテックギャラリーを会場とし、ワインを飲みながらのトークラウンジ感覚で50名ほどが集まる。



HIRATA TILE
www.hirataile.co.jp

おかげさまで100周年
The Timeless Challenge

東京	〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー1F	03-5308-1130
名古屋	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-20-8 東栄ビル2F	052-218-3186
大阪	〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-1-10	06-6532-1280
福岡	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-8 住友生命博多ビル11F	092-433-7055

JCD All Japan Branch Reports

全国各支部情報

北海道支部 支部長 高橋 恵



北海道支部では、夏にデザインキャンプ、冬に桑園小学校でSODA活動、そして今年で5回目の開催となる北海道支部のデザインアワードを開催しております。様々な活動を通じてデザインで地域とのつながりが持てるようにそして私たちデザイナー同士の横のつながりをもっと広がるような活動を今後も行っていきたくと考えています。



東北支部 支部長 大塚 真司



東北支部では毎年デザインキャンプを行い、正会員の作品発表会などでお互いの刺激を高め合うと共に、小学校への出前授業で子供達からエネルギーを頂き、また将来デザイナーになってもらう事を期待し活動しております。その活動の中でより多くの正会員、賛助会員の方々にも参加して頂く為、支部総会をはじめ各イベントを各県持ち回りで開催し、交流を深めながら地域の活性化に繋げられる様、努力しております。



関東支部 支部長 小田 秀樹



今期、関東支部は賛助委員会の熱海の海上花火大会が好評で、研究委員会の「とくトーク」は4回開催して毎回好評でした。交流委員会の夏・冬のパーティーは集客力で協会の広報に貢献しました。特別委員会は「台湾研修旅行」の他に台湾のデザイン協会(CSID)と交流をしました。広報委員会は「JCD・KANTO」を3号発刊し、メディア委員会はHPの更新とSNSで本部や関東支部の情報をクイックに発信しました。



中部支部 支部長 鳥居 佳則



支部アワードも第4回を迎え、特別審査員として橋本夕紀夫会員を加え更なる厳正な審査を行った。7つの受賞作品の内、3作品が同じ組織という異例の結果となった。しかしここから見てくるのはデザインとは個から生まれるのは勿論だが時流は組織の中にある個が突出して来ていることを思わせるアワードとなった。私達もJCDという組織の中で個の存在が粉砕身することで新たな逸材を生み出すエネルギーになれるよう邁進したい。



関西支部 支部長 中村 裕輔



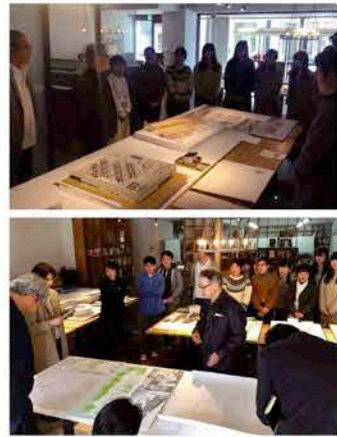
関西支部では「デザインによる社会の問題解決」を目的にデザインの普及活動を実施しています。特に近年は【デザインによる社会貢献】【デザインの次世代への発信】に注力しており、子供・学生・女性の社会進出をテーマにしたイベントを定期的に多数開催しています。しかし最も大事に考えていることは、まずは活動が楽しいこと。「集って楽しいJCD関西」をモットーにデザインの輪を広げる活動を推進しています!



中国支部 支部長 深田 勝哉



中国支部では、地域とのコミュニケーションに力を入れています。支部主催で毎年開催している「広島デザインデイズ」では、若手デザイナーとデザインを目指す学生達を中心として、アワード・セミナー・ワークショップなどを巻き込んだイベントとして続けています。そして支部アワードも年々参加者も増え、中国地区エリアすべてのデザイナーにとって活躍しやすい支部を目指していきたいと考えています。



四国支部 支部長 長尾 勝彦



どこの地方都市も、同じような町、同じような商環境が益々増殖していますが「風土の声」を失ってはならない。時代と共に求められるデザインは変化しては行きますが、時代に受け入れられながらも「デザイン風土、風浴、文化、地域性」を大切にできる。これからのデザインを創りだせる。若いデザイナーが育つ環境を四国支部は応援していきたいと思っています。



九州支部 支部長 原田 啓二



九州支部はFUKUOKAデザインリーグに団体会員として参加をしながら、九州ならではのJCDを目指しています。主な活動は小学校における出張出前授業で、小学生を中心に街づくりや地域の啓蒙活動を行うワークショップを開催しています。その他に、夏のビアパーティやアワードパネル展・各種セミナーなどを催し、皆様とのコミュニケーションを積極的に取りながら沢山のつながりを大切に考えています。皆様の参加をお待ちしています。



沖縄支部 支部長 山里 健市



私たち沖縄支部は若いメンバーが多く、恒例となった夏の夕涼みBBQ、冬の忘年会「モノズクリガンパッタ」など、回を重ねるごとにパワーアップし、大変な盛り上がりを見せております。SODA活動に於いては、年2校開催目標の中、2012年から7校の小学校で行ってまいりました。正・賛助会員共にチームワーク・団結力だけは、どこの支部にも負けないよう突き進んでおります!!



「五感に響くオフィス」 WHAT'S PLACE 2.5

その空間は、知的生産性を上げる。

oliver

同梱本社 〒444-2137 愛知県岡崎市坂田1-1-12 TEL.0564-27-2800
東京支店 〒104-0088 東京都江川区島崎南 6-27-19 TEL.03-5674-0500
豊橋工場 〒441-3103 愛知県豊橋市豊橋町字上山214 TEL.0532-41-0211 www.oliverinc.co.jp

厚さ2mmの特殊左官 「エコリバイバル工法」

下地を選ばず、厚さ2mm以内で表現する左官工法

株式会社プラン・ドゥ・モトハシ
177-0042
東京都練馬区下石神井3-9-10-1-101
03-5923-6505 / F 03-3904-1920
info@plando-group.co.jp
担当 藤原 巧

特別な時間を、特別な空間から

リビエラ東京ショールームは、デザイン性に優れたイタリア製タイルや石材を中心に展示する空間です。

リビエラ株式会社
〒107-0052
東京都港区赤坂3-3-5
住友生命王ビル B1F
TEL:03-6276-3450
FAX:03-6276-1121
e-mail:info@riviera.jp
www.riviera.jp

Door Handle : G124D

STONE BLAST
金属で作りながら彫刻めから「ストーンブラスト」

UNION 株式会社ユニオン
www.union.co.jp www.union.jp
本社大阪支店 大阪市西区南堀江2-13-27 TEL.06-6532-3771 東京支店 東京都江東区白河2-8-5 TEL.03-3610-2811 名古屋支店 名古屋市中川区舟形町3-20 TEL.052-363-5271

BINOMURA GROUP

世界に、喜びと感動を

株式会社 乃村工藝社
本社 東京都港区台場2-3-4 TEL.03-5962-1171 (代表)

注目させる光。

一般LED TOLSO

メリハリのある光で、商品の立体感や存在感を高めながら、お客様にまぶしさを感じさせないLED照明を開発しました。

独自のレンズ設計で、メリハリある美しい光を実現。

一般LED TOLSO

光源 レンズ 照射しきれない拡散光 → 拡散光を抑えるレンズ設計 器具断面図

TOLSO トルソ

Panasonic LED

あなたの店舗で、ぜひ実感してください。スポットライト貸出し中! 貸出しのお申込みはこちらから▶

ご用の方は状況によって異なる場合があります。※お申込みは法人のお客様に限定させていただきます。貸出し器具の台数に限りがあるため、ご希望に添えない場合があります。

A Better Life, A Better World パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 〒105-8301 東京都港区東新橋1丁目5番1号 TEL.03-6218-1131(代表)

KMEW

typeF coffee 内照専用

GOOD DESIGN AWARD 2018

JCD BEST 100

PRODUCT OF THE YEAR 2018

DESIGN AWARD 2019

SOLIDO

typeM_LAP 内照・外景用

typeM_FLAT 内照専用